

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-226218

(43)Date of publication of application : 21.08.2001

(51)Int.Cl.

A61K 7/00
A61K 7/06
A61K 7/075
A61K 7/08
A61K 7/11
A61K 7/48
A61K 7/50

(21)Application number : 2000-038919

(71)Applicant : ICHIMARU PHARCOS CO LTD

(22)Date of filing : 17.02.2000

(72)Inventor : OHARA MITSU HARU
HORI MICHIMASA

(54) COSMETIC COMPOSITION CONTAINING PLANT STEAM DISTILLATION WATER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a new and cosmetic composition.

SOLUTION: This cosmetic composition characterized by containing the steam distillation water of one or more kinds of plants selected from Malpighiaceae plants (*Galphimia glauca* Cav., *Malpighia glabra* L., *Tristellateia australasica* A. Rich.), Lauraceae plants [*Actinodaphne acuminata* (Bl.) Meissn., *Actinodaphne lancifolia* (Sieb. et Zucc.) Meissn, *Cassytha filiformis* L., *Cinnamomum camphora* (L.) Presl, *Cinnamomum sieboldii* Meissn, *Cryptocarya chinensis* (Hance) Hemsl., *Laurus nobilis* L., *Lindera umbellata* Thunb., *Lindera strychnifolia* (Sieb. et Zucc) F. Vill., *Litsea japonica* (Thunb.) Juss., *Neolitsea sericea* (Bl.) Koids., *parabenzoin trilobum* (Sieb. et Zucc.) Nakai, *Persea americana* Miller], Elaeagnaceae plants (*Elaeagnus multiflora* Thunb., *Elaeagnus angustifolia* L., *Elaeagnus glabra* Thunb., *Elaeagnus umbellata* Thunb.), Rhamnaceae plants [*Berchemia racemosa* Sieb. et Zucc., *Hovenia dulcis* Thunb., *Paliurus ramosissimus* (Lour.) Poir., *Phamnus japonica* Maxim., *Zizyphus jujuba* Miller var. *inermis* Rehder = (*Ziziphus jujuba* Miller)], Moraceae plants [*Artocarpus heterophyllum* Lam., *Broussonetia kazinoki* Sieb., *Cudrania trucuspidata* (Carr.) Lav., *Ficus carica* L., *Morus alba* L.], and Punicaceae plants (*Punica granatum* L., *Punica granatum* L. var. *nana* Pers.). The cosmetic composition can improve dry skins and can give gloss and tensions to skins.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-226218

(P 2 0 0 1 - 2 2 6 2 1 8 A)

(43) 公開日 平成13年 8 月 21 日 (2001. 8. 21)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード (参考)
A61K 7/00		A61K 7/00	K 4C083
7/06		7/06	
7/075		7/075	
7/08		7/08	
7/11		7/11	

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全31頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-38919 (P 2000-38919)

(22) 出願日 平成12年 2 月 17 日 (2000. 2. 17)

(71) 出願人 000119472

一丸ファルコス株式会社

岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1

(72) 発明者 大原 光晴

岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1

一丸ファルコス株式会社内

(72) 発明者 堀 道政

岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1

一丸ファルコス株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 植物水蒸気蒸留水含有化粧料組成物

(57) 【要約】

【課題】 新規で安全な化粧料組成物を提供することを課題とする。

【解決手段】 キントラノオ科植物 (キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ)、クスノキ科植物 (バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド)、グミ科植物 (ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ)、クロウメモドキ科植物 (ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ)、クワ科植物 (パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ)、ザクロ科植物 (ザクロ、ヒメザクロ) より選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有した化粧料組成物を提供するものである。

【効果】 乾燥肌を改善し、肌にツヤ・張りも与えることができる。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 キントラノオ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 2】 キントラノオ科植物が、キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 3】 クスノキ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。 10

【請求項 4】 クスノキ科植物が、バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカドから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 5】 グミ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。 20

【請求項 6】 グミ科植物が、ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 7】 クロウメドモドキ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 8】 クロウメドモドキ科植物が、ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメドモドキ、ナツメから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。 30

【請求項 9】 クワ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 10】 クワ科植物が、バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 11】 ザクロ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。 40

【請求項 12】 ザクロ科植物が、ザクロ、ヒメザクロから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、キントラノオ科植物（キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモ 50

ジ、アボカド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメドモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメドモドキ、ナツメ）、クワ科植物（バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）より選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有する化粧料組成物への応用に関するものである。

【0002】 その利用分野は、例えば、各種の外用製剤類（動物用に使用する製剤も含む）全般において利用でき、化粧品類の処方（製剤化）の際に、精製水、蒸留水の添加を必要とする場合、その水分の代替として利用でき、具体的には、アンプル、カプセル、丸剤、錠剤、粉末、顆粒、固形、液体、ゲル又は気泡の1)医薬品類、2) 医薬部外品類、3) 局所用又は全身用の皮膚用化粧品類（例えば、化粧水、乳液、クリーム、軟膏、ローション、オイル、パックなどの基礎化粧料、洗顔料や皮膚洗浄料、マッサージ用剤、クレンジング用剤、除毛剤、脱毛剤、髭剃り処理料、アフターシェーブローション、ブレッシュローション、シェービングクリーム、ファンデーション、口紅、頬紅、アイシャドウ、アイライナー、マスカラなどのメイクアップ化粧料、香水類、パップ剤、プラスター剤、テープ剤、シート剤、貼付剤、エアゾール剤など）、4) 頭皮・頭髮に適用する薬用又は/及び化粧用の製剤類（例えば、シャンプー剤、リンス剤、トリートメント剤、パーマネント液、染毛料、整髪料、ヘアートニック剤、育毛・養毛料、パップ剤、プラスター剤、テープ剤、シート剤、貼付剤、エアゾール剤など）、5) 浴湯に投じて使用する浴用剤、6) その他、腋臭防止剤や消臭剤、防臭剤、衛生用品、衛生綿、ウエットティッシュ、口中清涼剤（例えば、歯磨き、マウスウォッシュなど）などが挙げられる。

【0003】

【従来の技術】 天然の香料を得る場合、例えば、植物中から匂いの良好な香料成分（芳香性精油）を得る際には、その多くは、水蒸気蒸留により精油層部を分取して得られる。又、その際、同時に水層部に移行した水溶性成分は、これまで、ほとんど有効利用されていなかった。すなわち、植物の水蒸気蒸留によって水層部に移行した水蒸気蒸留水は、他の水、例えば、蒸留水、精製水、水道水、地下水などとは区別でき、ほとんど有効利用がないのが現況である。

【0004】 又、植物から水蒸気蒸留法によって精油層部に移行した揮発性の精油成分は、例えば、各種の化粧品類を始め、加工食品類、冷菓・菓子類などの芳香剤（香料）として用いられ、更に、医薬品の有効成分として、或いはシロップ剤などの芳香成分として利用されており、このような天然香料（水蒸気蒸留において得られた精油成分/香油）については、微量であれば、その香りの発散によって、精神的な安定感を付与し、ストレスの解消、清涼感を与え、健康回復に役立つとされている

が、しかしながら、添加量が多いと、逆効果を生じ、体調を崩すこともあり、更に、添加濃度が高い天然香料を皮膚に貼付すると、皮膚一次刺激を起こすこともある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】従って、本発明は公知な水蒸気蒸留装置を用いて、植物の各種部位（花、葉、茎、根茎、根皮、根、幹、樹皮、果実、種子或いは全草）をもとに、多量の水蒸気蒸留水の有効利用を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】こうした事情に鑑み、本発明者らは、水蒸気蒸留の際に、副産物として得られる植物の水蒸気蒸留水を開発のテーマとし、その結果、キントラノオ科植物（キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）から選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水を含む化粧料組成物を提供することをもって、本発明を完成するに至った。

【0007】

【発明の実施の形態】尚、本発明で使用する植物とは以下に示すが、花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を使用することができるが、生薬として入手可能なものを用いても良い。

【0008】

【発明の実施の形態】尚、本発明で使用する「キントラノオ」とは、キントラノオ科（Malpighiaceae）、キントラノオ属（Galphimia）の植物：キントラノオ（*Galphimia glauca* Cav.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0009】「アセロラ（別名：バルバドスザクラ）」とは、キントラノオ科（Malpighiaceae）、マルピグヒア属（*Malpighia*）の植物：アセロラ（*Malpighia glabra* L.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0010】「コウシュンカズラ」とは、キントラノオ科（Malpighiaceae）、コウシュンカズラ属（*Tristellateia*）の植物：コウシュンカズラ（*Tristellateia australasica* A. Rich.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0011】「バリバリノキ」とは、クスノキ科（Laur

aceae）、カゴノキ属（*Actinodaphne*）の植物：バリバリノキ（*Actinodaphne acuminata* (Bl.) Meissn.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0012】「カゴノキ」とは、クスノキ科（Lauraceae）、カゴノキ属（*Actinodaphne*）の植物：カゴノキ（*Actinodaphne lancifolia* (Sieb. et Zucc.) Meissn.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

10 【0013】「スナヅル」とは、クスノキ科（Lauraceae）、スナヅル属（*Cassytha*）の植物：スナヅル（*Cassytha filiformis* L.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0014】「クスノキ（別名：楠）」とは、クスノキ科（Lauraceae）、クスノキ属（*Cinnamomum*）の植物：クスノキ（*Cinnamomum camphora* (L.) Presl）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のホウショウ（*Cinnamomum camphora* (L.) Presl var. *nominal* Hayata subvar. *hosyo* Hatusima）を用いることもできる。

【0015】「ニッケイ（別名：肉桂）」とは、クスノキ科（Lauraceae）、クスノキ属（*Cinnamomum*）の植物：ニッケイ（*Cinnamomum sieboldii* Meissn.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のケイ（*Cinnamomum cassia* Blume）、セイロンニッケイ（*Cinnamomum verum* J. S. Presl）、タイワンニッケイ（*Cinnamomum pseudo-loureirii* Hay.）を用いることもできる。

【0016】「シナクスモドキ」とは、クスノキ科（Lauraceae）、シナクスモドキ属（*Cryptocarya*）の植物：シナクスモドキ（*Cryptocarya chinensis* (Hance) Hems l.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0017】「ゲッケイジュ（別名：月桂樹）」とは、クスノキ科（Lauraceae）、ゲッケイジュ属（*Laurus*）の植物：ゲッケイジュ（*Laurus nobilis* L.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0018】「クロモジ（別名：黒文字）」とは、クスノキ科（Lauraceae）、クロモジ属（*Lindera*）の植物：クロモジ（*Lindera umbellata* Thunb.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のアメリカクロモジ（*Lindera benzoin* (L.) Bl.）、カナクギノキ（*Lindera erythrocarpa* Makino）、ヤマコウバシ（*Lindera glauca* Bl.）、ダンコウバイ（*Lindera obtusiloba* Bl.）を用いることもできる。

【0019】「テンダイウヤク（別名：天台烏薬）」とは、クスノキ科 (Lauraceae)、クロモジ属 (*Lindera*) の植物：テンダイウヤク (*Lindera strychnifolia* (Sieb. et Zucc.) F. Vill. = (*Benzoin strychnifolium* (Sieb. et Zucc.) O. Kuntze)) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0020】「ハマビワ（別名：浜枇杷）」とは、クスノキ科 (Lauraceae)、ハマビワ属 (*Litsea*) の植物：ハマビワ (*Litsea japonica* (Thunb.) Juss.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のアオモジ (*Litsea cubeba* (Lour.) Pers.) を用いることもできる。

【0021】「シロダモ」とは、クスノキ科 (Lauraceae)、シロダモ属 (*Neolitsea*) の植物：シロダモ (*Neolitsea sericea* (Bl.) Koidz.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のイヌガシ (*Neolitsea aciculata* (Bl.) Koidz.) を用いることもできる。

【0022】「シロモジ」とは、クスノキ科 (Lauraceae)、シロモジ属 (*Parabenzoin*) の植物：シロモジ (*Parabenzoin trilobum* (Sieb. et Zucc.) Nakai) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のアブラチャン (*Parabenzoin praecox* (Sieb. et Zucc.) Nakai) を用いることもできる。

【0023】「アボカド（別名：ワニナシ）」とは、クスノキ科 (Lauraceae)、アボカド属 (*Persea*) の植物：アボカド (*Persea americana* Miller) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0024】「ナツグミ」とは、グミ科 (Elaeagnaceae)、グミ属 (*Elaeagnus*) の植物：ナツグミ (*Elaeagnus multiflora* Thunb.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のダイオウグミ (*Elaeagnus multiflora* Thunb. var. *gigantea* Araki)、トウグミ (*Elaeagnus multiflora* Thunb. var. *hortensis* Serv.)、ナワシログミ (*Elaeagnus pungens* Thunb.)、アキグミ (*Elaeagnus umbellata* Thunb.) を用いることもできる。

【0025】「ホソグミ」とは、グミ科 (Elaeagnaceae)、グミ属 (*Elaeagnus*) の植物：ホソグミ (*Elaeagnus angustiflora* L.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0026】「ツルグミ」とは、グミ科 (Elaeagnaceae)、グミ属 (*Elaeagnus*) の植物：ツルグミ (*Elaeagnus*

s. glabra Thunb.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0027】「アキグミ」とは、グミ科 (Elaeagnaceae)、グミ属 (*Elaeagnus*) の植物：アキグミ (*Elaeagnus umbellata* Thunb.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0028】「ヤマヤナギ」とは、クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)、ヤマヤナギ属 (*Berchemia*) の植物：ヤマヤナギ (*Berchemia racemosa* Sieb. et Zucc.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のヨコグラノキ (*Berchemia berchemiaefolia* (Makino) Koidz.) を用いることもできる。

【0029】「ケンボナシ」とは、クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)、ケンボナシ属 (*Hovenia*) の植物：ケンボナシ (*Hovenia dulcis* Thunb.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0030】「ハマナツメ」とは、クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)、ハマナツメ属 (*Paliurus*) の植物：ハマナツメ (*Paliurus ramosissimus* (Lour.) Poir.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のセイヨウハマナツメ (*Paliurus spina-christi* Mill.) を用いることもできる。

【0031】「クロウメモドキ」とは、クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)、クロウメモドキ属 (*Rhamnus*) の植物：クロウメモドキ (*Rhamnus japonica* Maxim.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のセイヨウクロウメモドキ (*Rhamnus cathartica* L.)、イソノキ (*Rhamnus crenata* Sieb. et Zucc.)、(Rhamnus *davurica* Pall.)、シーボルトノキ (*Rhamnus utilis* Decne.)、(Rhamnus *californica* Eschs.) を用いることもできる。

【0032】「ナツメ（別名：棗、タイソウ）」とは、クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)、ナツメ属 (*Zizyphus*) の植物：ナツメ (*Zizyphus jujuba* Miller var. *inermis* Rehder = (*Zizyphus jujuba* Miller)) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のインドナツメ (*Zizyphus mauritiana* Lam.) を用いることもできる。

【0033】「バラミツ（別名：ジャックフルーツ）」とは、クワ科 (Moraceae)、パンノキ属 (*Artocarpus*) の植物：バラミツ (*Artocarpus heterophyllum* Lam.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その

他、同属種のコバラミツ (*Artocarpus integra* (Thunb.) Merrill) を用いることもできる。

【0034】「コウゾ (別名: 楮)」とは、クワ科 (Moraceae)、コウゾ属 (*Broussonetia*) の植物: コウゾ (*Broussonetia kazinoki* Sieb.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のコウゾ (*Broussonetia kaempferi* Sieb.)、カジノキ (*Broussonetia papyrifera* (L.) Vent.) を用いることもできる。

【0035】「ハリグワ」とは、クワ科 (Moraceae)、ハリグワ属 (*Cudrania*) の植物: ハリグワ (*Cudrania tricuspidata* (Carr.) Lav.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のカカツガ (*Cudrania cochinchinensis* (Lour.) Kudo et Masam.) を用いることもできる。

【0036】「イチジク (別名: 無花果)」とは、クワ科 (Moraceae)、イチジク属 (*Ficus*) の植物: イチジク (*Ficus carica* L.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のおオバイチジク (*Ficus suriculata* Lour.)、カンテンイタビ (*Ficus awkeotsang* Makino)、イヌビワ (*Ficus erecta* Thunb.)、イアタビカズラ (*Ficus oxyphylla* Miq.)、オオイタビ (*Ficus pumila* L.)、インドボダイジュ (*Ficus religiosa* L.)、エジプトイチジク (*Ficus sycomorus* L.) を用いることもできる。

【0037】「マグワ」とは、クワ科 (Moraceae)、クワ属 (*Morus*) の植物: マグワ (*Morus alba* L.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のマグワ (*Morus australis* Poir.)、ヤマグワ (*Morus bombycis* Koidz.)、ログワ (*Morus latifolia* (Bur.) Poir.)、モウコグワ (*Morus mongolica* (Bur.) Schneid.)、クロミグワ (*Morus nigra* L.)、アカミグワ (*Morus rubra* L.) を用いることもできる。

【0038】「ザクロ (別名: 石榴)」とは、ザクロ科 (Punicaceae)、ザクロ属 (*Punica*) の植物: ザクロ (*Punica granatum* L.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0039】「ヒメザクロ」とは、ザクロ科 (Punicaceae)、ザクロ属 (*Punica*) の植物: ヒメザクロ (*Punica granatum* L. var. *nana* Pers.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0040】又、本発明で使用するキントラノオ科植物 (キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ)、クスノキ科植物 (バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クス

ノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド)、グミ科植物 (ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ)、クロウメモドキ科植物 (ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ)、クワ科植物 (バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ)、ザクロ科植物 (ザクロ、ヒメザクロ) の交配種及び変種を用いることもできる。

【0041】尚、本発明のキントラノオ科植物 (キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ)、クスノキ科植物 (バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド)、グミ科植物 (ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ)、クロウメモドキ科植物 (ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ)、クワ科植物 (バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ)、ザクロ科植物 (ザクロ、ヒメザクロ) より選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水とは、各々の植物体の各種部位 (花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草など) をそのまま或いは粉碎後、公知な水蒸気蒸留装置を用いて得られた水蒸気蒸留水である。

【0042】(1) 水蒸気蒸留法

水蒸気蒸留法については、植物から精油を得る為の手段として、例えば、下記の文献より古くから知られている方法である (参考文献の所在: 藤巻正生「香料の事典」p366、1980年8月27日発行/朝倉書店、亀高德平「理論応用有機化学/第21版」p13、昭和26年4月5日発行/丸善出版)。又、水蒸気蒸留装置や原理についても、上記の文献などに示されている。

【0043】尚、製造方法は公知な水蒸気蒸留装置を用いて得られた水蒸気蒸留水であれば良く、特に制限されるものではないが、得られた水蒸気蒸留水は、そのままの状態では利用できるが、必要ならば、その効果に影響のない範囲で更に、濾過、脱臭、脱色などの処理を加えても良く、脱臭・脱色などの処理手段としては、活性炭カラムなどを用いれば良く、一般的に適用される通常の手段を任意に選択して行えば良い。

【0044】又、本発明のキントラノオ科植物 (キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ)、クスノキ科植物 (バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド)、グミ科植物 (ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ)、クロウメモドキ科植物 (ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ)、クワ科植物 (バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ)、ザクロ科植物 (ザクロ、ヒメザクロ) より選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水は、応用する化粧料組

成物の剤型・形態により乾燥、濃縮、或いは希釈などを任意に行い調整すれば良い。

【0045】更に、本発明のキントラノオ科植物（キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンポナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）より選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水は、化粧料組成物へ含有できるが、その含有量は特に規定されるものではなく、化粧料組成物の剤型の種類、品質、期待される作用の程度によって若干異なり、通常、0.1重量%以上（以下、%で表わす）好ましくは5～50%が良い。尚、含有量が0.1%より少ないと効果が充分期待できない。

【0046】尚、本発明の化粧料組成物は、前記の必須成分に加え必要に応じ、本発明の効果を損なわない範囲内で、下記に例示する成分や添加剤を任意に選択・併用して製造することができる。

【0047】(1)各種油脂類

アボガド油、アーモンド油、ウイキョウ油、エゴマ油、オリーブ油、オレンジ油、オレンジラファール油、ゴマ油、カカオ脂、カミツレ油、カロット油、キューカンバー油、牛脂脂肪酸、ククイナツツ油、サフラワー油、シア脂、液状シア脂、大豆油、ツバキ油、トウモロコシ油、ナタネ油、パーシク油、ヒマシ油、綿実油、落花生油、タートル油、ミンク油、卵黄油、パーム油、パーム核油、モクロウ、ヤシ油、牛脂、豚脂又はこれら油脂類の水素添加物（硬化油等）など。

【0048】(2)ロウ類

ミツロウ、カルナバロウ、鯨ロウ、ラノリン、液状ラノリン、還元ラノリン、硬質ラノリン、カンデリラロウ、モンタンロウ、セラックロウ、ライスワックス、スクワレン、スクワラン、プリスタンなど。

【0049】(3)鉱物油

流動パラフィン、ワセリン、パラフィン、オゾケライド、セレシン、マイクロクリスタンワックスなど。

【0050】(4)脂肪酸類

ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ベヘン酸、オレイン酸、12-ヒドロキシステアリン酸、ウンデシレン酸、トール油、ラノリン脂肪酸などの天然脂肪酸、イソノナン酸、カブロン酸、2-エチルプタン酸、イソペンタン酸、2-メチルペンタン酸、2-エチルヘキサン酸、イソペンタン酸などの合成脂肪酸。

【0051】(5)アルコール類

エタノール、イソピロパノール、ラウリルアルコール、セタノール、ステアリルアルコール、オレイルアルコー

ル、ラノリンアルコール、コレステロール、フィトステロールなどの天然アルコール、2-ヘキシルデカノール、イソステアリルアルコール、2-オクチルドデカノールなどの合成アルコール。

【0052】(6)多価アルコール類

酸化エチレン、エチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、エチレングリコールモノエチルエーテル、エチレングリコールモノブチルエーテル、ジエチレングリコールモノメチルエーテル、ジエチレングリコールモノエチルエーテル、ポリエチレングリコール、酸化プロピレン、プロピレングリコール、ポリプロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、グリセリン、ペンタエリトリール、ソルビール、マンニールなど。

【0053】(7)エステル類

ミリスチン酸イソプロピル、パルミチン酸イソプロピル、ステアリン酸ブチル、ラウリン酸ヘキシル、ミリスチン酸ミリスチル、オレイン酸オレイル、オレイン酸デシル、ミリスチン酸オクチルドデシル、ジメチルオクタ酸ヘキシルデシル、乳酸セチル、乳酸ミリスチル、フタル酸ジエチル、フタル酸ジブチル、酢酸ラノリン、モノステアリン酸エチレングリコール、モノステアリン酸プロピレングリコール、ジオレイン酸プロピレングリコールなど。

【0054】(8)金属セッケン類

ステアリン酸アルミニウム、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸カルシウム、パルミチン酸亜鉛、ミリスチン酸マグネシウム、ラウリン酸亜鉛、ウンデシレン酸亜鉛など。

【0055】(9)ガム質、糖類又は水溶性高分子化合物

アラビアゴム、ベンゾインゴム、ダンマルゴム、グアヤク脂、アイルランド苔、カラヤゴム、トラガントゴム、キャロブゴム、クインシード、寒天、カゼイン、乳糖、果糖、ショ糖又はそのエステル、トレハロース又はその誘導体、デキストリン、ゼラチン、ペクチン、デンプン、カラギーナン、カルボキシメチルキチン又はキトサン、エチレンオキサイドなどのアルキレン(C2～C4)オキサイドが付加されたヒドロキシアシル(C2～C4)キチン又はキトサン、低分子キチン又はキトサン、キトサン塩、硫酸化キチン又はキトサン、リン酸化キチン又はキトサン、アルギン酸又はその塩、ヒアルロン酸又はその塩、コンドロイチン硫酸又はその塩、ヘパリン、エチルセルロース、メチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、カルボキシエチルセルロース、カルボキシエチルセルロースナトリウム、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ニトロセルロース、結晶セルロース、ポリビニルアルコール、ポリビニルメチルエーテル、ポリビニルピロリドン、ポリビニルメタクリレート、ポリアクリル酸塩、ポリエチレンオキサイドやポリプロピレンオキサイドなどのポリ

アルキレンオキサイド又はその架橋重合物、カルボキシビニルポリマー、ポリエチレンイミンなど。

【0056】(10)界面活性剤

アニオン界面活性剤（アルキルカルボン酸塩、アルキルスルホン酸塩、アルキル硫酸エステル塩、アルキルリン酸エステル塩）、カチオン界面活性剤（アルキルアミン塩、アルキル四級アンモニウム塩）、両性界面活性剤：カルボン酸型両性界面活性剤（アミノ型、ペタイン型）、硫酸エステル型両性界面活性剤、スルホン酸型両性界面活性剤、リン酸エステル型両性界面活性剤、非イオン界面活性剤（エーテル型非イオン界面活性剤、エーテルエステル型非イオン界面活性剤、エステル型非イオン界面活性剤、ブロックポリマー型非イオン界面活性剤、含窒素型非イオン界面活性剤）、その他の界面活性剤（天然界面活性剤、タンパク質加水分解物の誘導体、高分子界面活性剤、チタン・ケイ素を含む界面活性剤、フッ化炭素系界面活性剤）など。

【0057】(11)各種ビタミン類

ビタミンA群：レチノール、レチナール（ビタミンA1）、デヒドロレチナール（ビタミンA2）、カロチン、リコピン（プロビタミンA）、ビタミンB群：チアミン塩酸塩、チアミン硫酸塩（ビタミンB1）、リボフラビン（ビタミンB2）、ピリドキシン（ビタミンB6）、シアノコバラミン（ビタミンB12）、葉酸類、ニコチン酸類、パントテン酸類、ピオチン類、コリン、イノシトール類、ビタミンC群：ビタミンC酸又はその誘導体、ビタミンD群：エルゴカルシフェロール（ビタミンD2）、コレカルシフェロール（ビタミンD3）、ジヒドロタキステロール、ビタミンE群：ビタミンE又はその誘導体、ユビキノール類、ビタミンK群：フィトナジオン（ビタミンK1）、メナキノール（ビタミンK2）、メナジオン（ビタミンK3）、メナジオール（ビタミンK4）、その他、必須脂肪酸（ビタミンF）、カルニチン、フェルラ酸、 γ -オリザノール、オロツト酸、ビタミンP類（ルチン、エリオシトリン、ヘスペリジン）、ビタミンUなど。

【0058】(12)各種アミノ酸類

バリン、ロイシン、イソロイシン、トレオニン、メチオニン、フェニルアラニン、トリプトファン、リジン、グリシン、アラニン、アスパラギン、グルタミン、セリン、システイン、シスチン、チロシン、プロリン、ヒドロキシプロリン、アスパラギン酸、グルタミン酸、ヒドロキシリジン、アルギニン、オルニチン、ヒスチジンなどや、それらの硫酸塩、リン酸塩、硝酸塩、クエン酸塩、或いはピロリドンカルボン酸のごときアミノ酸誘導体など。

【0059】(13)植物又は動物系原料由来の種々の添加物

これらは、添加しようとする製品種別、形態に応じて常法的に行われる加工（例えば、粉碎、製粉、洗浄、加水

分解、醗酵、精製、圧搾、抽出、分画、ろ過、乾燥、粉末化、造粒、溶解、滅菌、pH調整、脱臭、脱色などを任意に選択、組合わせた処理）を行い、各種の素材から任意に選択して供すれば良い。

【0060】尚、抽出に用いる溶媒については、供する製品の使用目的、種類、或いは後に行う加工処理等を考慮した上で選択すれば良いが、通常では、水、水溶性有機溶媒（例えば、エタノール、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコールなど）の中から選ばれる1種もしくは2種以上の混液を用いるのが望ましい。但し、用途により有機溶媒の含有が好ましくない場合においては、水のみを使用したり、或いは抽出後に除去しやすいエタノールを採用し、単独又は水との任意の混液で用いたりすれば良く、又、搾取抽出したものでも良い。

【0061】尚、植物又は動物系原料由来の添加物を、全身用又は局所用の外用剤、化粧品類に供する場合、皮膚や頭髮の保護をはじめ、保湿、感触・風合いの改善、柔軟性の付与、刺激の緩和、芳香によるストレスの緩和、細胞賦活（細胞老化防止）、炎症の抑制、肌質・髪質の改善、肌荒れ防止及びその改善、発毛、育毛、脱毛防止、光沢の付与、清浄効果、疲労の緩和、血流促進、温浴効果などの美容的効果のほか、香付け、消臭、増粘、防腐、緩衝などの効果も期待できる。

【0062】原料とする具体的な植物(生薬)としては、例えば、アーモンド(へん桃)、アイ(藍葉)、アオカズラ(清風藤)、アオキ(青木)、アオギリ又はケナシアオギリ(梧桐)、アオツツラフジ(木防已)、アカシア、アカショウマ(赤升麻)、アカスグリ「果実」、アカツメクサ、アカブドウ、アカミノキ(ログウッド)、アカメガシワ(赤芽柏)、アカネ(茜草根)、アカヤジオウ又はジオウ(地黄)、アギ(阿魏)、アキカラマツ、アキニレ(榔榆皮)、アグアイー・グアスー、アグアヘ(オオミテングヤシ)、アケビ(木通)、アサ(麻子仁)、マルバアサガオ又はアサガオ(牽牛子)、アジサイ(紫陽花)、アシタバ(明日葉)、アズキ(赤小豆)、アセロラ、アセンヤク(阿仙薬)、アチラ(ショクヨウカンナ)、アニス、アビウ、アビウラーナ、アブラナ、アベマキ「果実」、アボカド、アマ、アマチャ(甘茶)、アマチャヅル、アマドコロ(玉竹)、アマナ(光慈姑)、アマランサス(ヒユ、ハゲイトウ、ヒモゲイトウ、センニンコク、スギモリゲイトウ、ホソアオゲイトウ、アオゲイトウ、ハリビユ、アマラントウス・ヒポコンドリアクス)、アミガサユリ又はバイモ(貝母)、アリストロメリア(ユリズイセン)、アルカナ(アルカンナ)、アルガローボ(キャベ)、アルテア、アルニカ、アルビニア又はカツマダイ(ソウズク)、アロエ(蘆薈)、アロエベラ、アンジェリカ、アンズ又はホンアンズ(杏仁)、アンソッコウ(安息香)、イエローサボテ、イガコウゾリナ(地胆頭)、イカリソウ又はヤチマタイカリソウ(インヨウカク)、イグサ(灯心草)、イタドリ(虎杖根)、イチイ(一位)、イチゴ、イチジク(無花果「果実」、

葉)、イチハツ(一初)、イチビ(冬葵子)、イチヤクソ
 ウ(一葉草)、イチョウ(銀杏「種子、葉」)、イトヒメハ
 ギ(遠志)、イナゴマメ、イヌナヅナ(ティレキシ)、イヌ
 ビユ(ホナガイヌビユ)、イネ「種子、種皮」、イノンド
 「種子」、イブキジャコウソウ、イラクサ、イランイラ
 ン、イワタバコ(岩菫)、イワヒバ又はイワマツ(卷
 柏)、ウーロン茶、ウイキョウ(茴香)、ウィート(チブサ
 ノキ)、ウキヤガラ(三稜)、ウグイスカグラ「果実」、
 ヒメウイキョウ、ウコン(鬱金)、ウキクサ(浮萍)、ウス
 バサイシン又はケイリンサイシン又はオウシュウサイシ
 ン(細辛)、ウスベニアオイ、ウスベニタチアオイ、ウツ
 ボグサ(夏枯草)、ウド又はシシウド(羌活、独活、唐独
 活)、ウニャデガト(ウンカリヤ、キャツツクロ)、ウ
 バ茶、ウメ(烏梅「種子、果肉」)、ウラジログシ、ウワ
 ウルシ(クサコケモモ)、ウンシュウミカン(陳皮)、エス
 トラゴン、エゾウコギ(蝦夷五加)、エチナシ(ホソバム
 ラサキバレンギク)、エニシダ、エノキタケ(榎茸)、エ
 ビスグサ又はカシヤ・トーラ(決明子)、エルカンブ
 レ、エルダーベリー「果実」、エレミ、エリンギ又は
 プレロータスエリンジ、エンジュ(槐花、槐花米)、オウ
 ギ又はキバナオウギ(黄耆)、オウセイ(ナルコユリ、カ
 ギクルマバナナルコユリ)、オウヒササノユキ又はササノ
 ユキ、オウレン(黄連)、オオガタホウケン、オオカラス
 ウリ(カロコン)、オオグルマ(土木香)、オオツツラフジ
 (防己)、オオバコ(車前子、車前草)、オオハシバミ(榛
 子)、オオハシラサボテン、オオバナオケラ又はオケラ
 (白朮)、オオバナサルズベリ(バナバ)、オオバヤシャ
 ブシ「果実」、オオホシグサ(穀精草)、オオミアカテ
 ツ、オオミサンザシ又はサンザシ(山査子)、オオムギ
 (大麦)、オカ、オカゼリ(蛇床子)、オクラ「果実」、オ
 グルマ(旋覆)、オタネニンジン又はトチバニンジン(人
 参)、オトギリソウ又はコゴメバオトギリソウ又はセイ
 ヨウオトギリソウ(弟切草)、オドリコソウ(統断)、オナ
 モミ(蒼耳子)、オニグルミ、オニドコロ又はトコロ又は
 ナガドコロ(ヒカイ)、オニノヤガラ(天麻)、オニユリ又
 はササユリ又はハカタユリ(百合)、オノニス、オヒョウ
 (裂葉楡)、オミナエシ(敗醬)、オユーコ、オランダカラ
 シ(クレソン)、オランダゼリ、オランダミツバ、オリ
 ブ「果実、種子、葉」、オレガノ、オレンジ「果実、果
 皮」、カイケイジオウ(熟地黄)、カカオ「果実、果皮、
 種子」、カキ(柿蒂「葉」)、カギカズラ(釣藤鉤)、カキ
 ドオシ又はカントリソウ(蓮銭草)、ガクアジサイ、カシ
 ア、カキノキ(栲実「果実」)、ガジュツ(莪朮)、カシワ
 (榲桲、榲桲葉)、カスカリラ、カスカラサグラダ、カスミ
 ソウ、カセンソウ、カニクサ(金沙藤)、カニワ、カー
 ネーション、カノコソウ(吉草根)、カバノキ又はシダレ
 カンバ(白樺)、ガーベラ、カボチャ、カボックノキ「種
 子」、カボクサンショウ(蜀椒)、ガマ(蒲黄)、カミツレ
 又はローマカミツレ、カミヤツデ(通草)、カムカム(カ
 モカモ)、カラー、カラクサケマン、カラスウリ又はシ

ナカラスウリ(王瓜)、カラスビシャク(半夏)、カラスム
 ギ、ガラナ「種子」、カラホオ(厚朴)、カラヤ、ガリュ
 ウ、カリン(木瓜)、ガルシニア、カワミドリ、カワラサ
 イコ(委陵菜、翻白草)、カワヂシャ、カワラタケ、カワ
 ラナデシコ(石竹)又はエゾカワラナデシコ(瞿麦、瞿麦
 子)、カワラニンジン(青蒿)、カワラヨモギ(茵陈
 蒿)、カンスイ(甘遂)、カンゾウ(甘草)、カンタラア
 サ、カンドリラ、カントウ、カンナ、キイチゴ(エゾイ
 チゴ、オランダイチゴ、エビガライチゴ、ナワシロイチ
 ゴ、モミジイチゴ、ヨーロッパキイチゴ)、クイ「果
 実、葉」、キカラスウリ(瓜呂根)、キキョウ(桔梗、桔
 梗根)、キク(菊花、シマカンギク、チョウセンノギ
 ク)、キクタニギク、キササゲ(梓実)、ギシギシ(羊蹄
 根)、キジツ(枳实)、キズタ、キダチアロエ、キダチハ
 ッカ、キナ、キナノキ(シンコーナ、アカキナノキ)、キ
 ヌア(キノア)、キハダ(黄柏)、ギムネマ・シルベスタ、
 キメンカク、キャベツ、キャベブ「未熟果」、キュウ
 リ、ギョリュウ(西河柳、てい柳)、キラジャ・サボナリ
 ア、キラヤ、キランソウ(金瘡小草)、キンカン「果
 実」、ギンセカイ、キンブセン、キンマ、キンミズヒキ
 (仙鶴草)、グアペーバ・ヴェルメーリヤ、グアバ「果
 実」、グアユーレ、ケルクス・インフェクトリア(没
 食子)、ククイナツツ、クコ(枸杞、枸杞子、枸杞葉、地
 骨皮)、クサスギカズラ(天門冬)、クズ(葛根)、クスノ
 キ、グースベリー「果実」、クソニンジン(黄花蒿)、ク
 ティティリバー、クチナシ(山梔子)、クヌギ(榎ソウ)、
 クブアス、クマザサ、クマツヅラ(馬鞭草)、クララ(苦
 参)、クランベリー「果実」、クリ「種子、果実、渋
 皮」、クルクリゴ・ラチフォリア「果実」、グレープフ
 ルーツ「果実・葉」、クロウメモドキ、クロガネモチ
 (救必応)、クロバナヒキオコシ又はヒキオコシ(延命
 草)、クローブ(丁子、丁香)、グンバイナヅナ(セキメ
 イ、セキメイシ)、ケイガイ(荊芥、荊芥穗)、ケイトウ
 (鶏冠花、鶏冠子)、ゲッカビジン、ゲッケイジュ(月桂
 樹)、ケナシサルトリイバラ(土茯苓、山帰来)、ゲンチ
 アナ、ゲンノショウコ(老鶴草)、ケンボナシ(キグシ)、
 コウキセツコク、キシウミカン(コウジ、タチバナ、
 オオベニミカン、フクレミカン、サガミコウジ、ボンカ
 ン、サンタラ(橘皮))、コウシンバラ(月季花)、コウス
 イハッカ、コウゾ「果実」、コウチャ(紅茶)、コウホネ
 (川骨)、コウホン(藁本、唐藁本)、コウリヤン、コウリ
 ヨウキョウ(高良姜)、コエンドロ「果実」、コオウレン
 (胡黄連)、コガネバナ(黄ゴン)、コケモモ(越橘)、ココ
 ヤシ「果実」、ゴシュユ(呉茱萸)、ゴショイチゴ(覆盆
 子)、コショウ(胡椒)、コスモス、コパイババルサム、
 コーヒー「種子、葉」、コブシ又はモクレン(辛夷)、ゴ
 ボウ(牛蒡、牛蒡子)、コボタンツル、ゴマ(胡麻)、ゴマ
 ノハグサ(玄参)、ゴミシ(五味子)、サネカズラ又はピナ
 ンカズラ又はマツブサ、コムギ(小麦)、米又は米糠「赤
 糠、白糠」、コメ油、コーラ・アクミナタ「種子」、コ

ーラ・ベラ「種子」、コロニーリヤ、コロハ「果実」、
 コロンボ、コンズランゴ、コンブ、コンニャク、コンフ
 リー(鰯張草)、サイザル(サイザルアサ)、サキシマボタ
 ンツル又はシナボタンツル又はシナセンニンソウ(威霊
 仙)、サクラ(オオシマザクラ、ヤマザクラ、オオヤマザ
 クラ、エドヒガシ、マメザクラ、ミヤマザクラ、ソメイ
 ヨシノ、タカネザクラ、カスミザクラ、コヒガン、サト
 ザクラ、カンザクラ「葉、花、果実、樹皮(桜皮)」)、
 サ克蘭ボ、ザクロ、ササ、サザンカ、サジオモダカ
 (沢瀉)、サツマイモ、サトウキビ、サトウダイコン、サ
 ネブトナツメ(酸棗仁)、サフラン(番紅花、西紅花)、サ
 ボジラ、サボテアマリヨ、ザボン「果実」、サボンソ
 ウ、サーモンベリー「果実」、サラシナショウマ(升
 麻)、サルビア(セージ)、サワギキョウ(山梗菜)、サワ
 グルミ(山胡桃)、サンカクサボテン、サングレデグラ
 ド(クロトン)、サンシクヨウソウ、サンシチニンジン
 (三七人參)、サンシュユ(山茱萸)、サンショウ(山椒)、
 サンズコン(山豆根)、シア(カリテ)、シアノキ「果
 実」、シイタケ(椎茸)、シオン(紫菀)、ジキタリス、シ
 クンシ(使君子)、シソ又はアオジソ又はチリメンジソ又
 はカタメンジソ(紫蘇葉、紫蘇子)、シタン、シナノキ、
 シナホオノキ、シナレンギョウ(連翹)、シメジ(ヒンシ
 メジ、シャカシメジ、ハタケシメジ、オシロイシメジ、
 ブナシメジ、ホンジメシ、シロタモギタケ)、シモクレ
 ン(辛夷)、シモツケソウ、ジャガイモ、シャクヤク(芍
 薬)、シャジン(沙参)、ジャスミン(マツリカ)、ジャ
 ノヒゲ(麦門冬)、シュクコンカスミソウ、シュクシャミ
 ツ(砂仁、縮砂)、ジュズダマ、シュロ「果実」、ショウ
 ガ(生姜)、ジョウザンアジサイ(常山)、ショウブ(菖
 蒲、菖蒲根)、ショズク「果実」、シラカシ「種子」、
 シロゴチョウ「種子」、シロツメクサ(クローバー)、シ
 ロトウアズキ(鶏骨草)、シロバナイリス(ニオイイリ
 ス)、シロバナツタ「花」、シロミナンテン(南天実)、
 シンコナサクシルブラ、ジンチョウゲ(瑞香、瑞香花、
 沈丁花)、シンナモン、シンナモムム・カッシア(桂
 皮)、スイカ(西瓜)、スイカズラ(金銀花、忍冬)、スイ
 バ(酸模)、スイムベリー「果実」、スターアップル、ス
 テビア、ストロベリー「果実」、スズサイコ(徐長卿)、
 スギナ(問荊)、スベリヒユ(馬齒けん、馬齒けん子)、ス
 モモ「果実」、セイヨウアカマツ「球果」、セイヨウカ
 ラマツ、セイヨウキズタ、セイヨウグルミ、セイヨウサ
 ンザシ、セイヨウタンポポ、セイヨウトチノキ(マロニ
 エ)、セイヨウナシ「果実」、セイヨウナツユキソウ、
 セイヨウニワトコ(エルダー)、セイヨウネズ(ジュニバ
 ー、杜松)、セイヨウノコギリソウ(ミルフォイル)、セ
 イヨウバラ、セイヨウフウチョウボク、セイヨウヤドリ
 ギ、セイヨウハッカ又はセイヨウヤマハッカ、セイヨウ
 ワサビ、セキショウ(石菖根)、セッコク(石斛)、セドロ
 ン(ボウシュウボク)、ゼニアオイ、ヒロハセネガ、セネ
 ガ、セリ、セロリ、センキュウ(川キュウ)、センシンレ

ン(穿心連)、センダン、センニンサボテン、センナ「果
 実、葉」、センニンソウ(大蓼)、センブリ(当薬)、ソウ
 カ(草果)、ゾウゲチュウ、ソシンロウバイ、ソバ「種
 実」、ソメモノイモ、ダイオウ(大黄)、大根、大豆、ダ
 イダイ(橙皮、枳実)、タカサブロウ(旱蓮草)、タカトウ
 ダイ(大戟)、タカワラビ(狗脊)、ダークスイートチェリ
 ー「果実」、タチアオイ、タチジャコウソウ(タイム、
 百里香)、タチドコロ(ヒカイ)、タチヤナギ、タマリ
 ンド「種子」、タマネギ、タムシバ(辛夷)、タラノキ「果
 実、葉、根皮」、ダリア(テンジクボタン)、タルウィ、
 タンシウチワ、タンジン(丹参)、タンポポ(蒲公英)又は
 シロバナタンポポ又はモウコタンポポ、ダンマル、チェ
 リー「果実」、チガヤ「果実、根、芽」、チクセツニン
 ジン(竹節人參)、チコリ、チャンカピエドラ(キダチコ
 ミカンソウ)、チョウセンダイオウ(大黄)、チョウセン
 ニレ(蕪夷)、チョウセンヨモギ(艾葉)、チョレイマイタ
 ケ(猪苓)、チョロギ、ツキミソウ、ツクリタケ(マッシ
 ュルム)、ツバキ、ツボクサ、ツメクサ(漆姑草)、ツ
 ユクサ(鴨跖草)、ツルアズキ(赤小豆)、ツルドクダミ
 (何首烏)、ツルナ(蕃杏)、ツルニンジン(四葉参)、ツワ
 ブキ、デイコ、テウチグルミ、デュベリー「果実」、チ
 ユーリップ、チョコノステイ、テングサ、テンチャ(甜
 茶)、テンダイウヤク(烏藥)、トウガ(冬瓜子)、トウカ
 ギカズラ、トウガラシ(番椒)、トウキ(当歸)、トウキン
 センカ(マリーゴールド)、トウナベナ(川断)、トウモロ
 コシ又はトウモロコシ毛(南蛮毛)、トウネズミモチ(女
 貞子)、トウリンドウ又はチョウセンリンドウ(竜胆)、
 トクサ(木賊)、ドクダミ(十葉)、トコン(吐根)、トシシ
 又はマメダオシ又はネナシカズラ、トチュウ(杜仲「樹
 皮、葉、根」)、トネリコ(秦皮)、トマト、トラガン
 ト、トリアカンソス「種子」、トルコキキョウ、トルメ
 ンチラ、ドロノキ、トロロアオイ、ナイゼリアベリー
 「果実」、ナガイモ又はヤマノイモ(山藥)、ナギイカダ
 (ブッチャーブルーム)、ナギナタコウジュ、ナズナ、ナ
 タネ、ナタメメ又はタテハキ(刀豆)、ナツミカン、ナツ
 メ(大棗)、ナニワイバラ(金桜子)、ナベナ(続断)、ナメ
 コ、ナルコユリ(黄精)、ナンキンマメ(落花生)、ナンテ
 ン(南天実)、ナンバンカラムシ(苧麻)、ニオイスマレ、
 ニガキ(苦木)、ニガヨモギ(苦艾)、ニクズク、ケイ又は
 ニッケイ又はセイロンニッケイ又はヤブニッケイ(桂皮)
 又はケイシ(桂枝)、ニラ(韭子)、ニワトコ(接骨木「果
 実、花、茎、葉」)、ニンニク(大蒜)、ヌルデ(五倍
 子)、ネギ、ネムノキ又はネブ又はネビ又はネムリノキ
 又はジゴクバナ(合歡)、ノアザミ(大薊)、ノイバラ(營
 実)、ノウゼンカズラ(凌霄花)、ノゲイトウ、ノコギリ
 ソウ、ノダケ(前胡)、ノバラ、ノモモ、パイナップル
 「果実」、ハイビスカス(ブッソウゲ、フウリンブッソ
 ウゲ、ローゼル)、ハイリンドウ、ハウチワ、パウ・ド
 ーセ、ハカマウラボシ(骨碎補)、ハクセン(白癬皮)、ハ
 クルベリー「果実」、ハコベ(繁縷)、ハシバミ(榛子)、

ハシリドコロ(ロート根)、バジル、ハス(蓮、蓮肉、蓮子)、バセリ(オランダゼリ)、ハダカムギ、パタタ、ハチク又はマダケ(竹茹)、パチョリー、ハッカ(薄荷、薄荷葉)、ハトムギ(ヨクイニン)、ハナスゲ(知母)、バナナ、ハナハッカ、ハナビシ(シツリシ、シシツリ)、パニラピンズ、パパイヤ、ハハコグサ(鼠麴草)、パハロボ、ハブ「全草、茎、葉」、パブリカ、ハマゴウ又はミツバハマゴウ(蔓荊子)、ハマスゲ(香附子)、ハマビシ(シツリ子)、ハマナス(マイカイ花)、ハマボウフウ(浜防風)、ハマメリス、パーム、バラ(薔薇)、バラータ、バラタゴムノキ、ハラタケ(ハラタケ、シロオハラタケ、ウスキモリノカサ)、ハラン、バリウルス(セイヨウハマナツメ)、バリエタリア、バルサミーナ(ツルレイシ、ニガウリ)、ハルニレ(楡皮、楡白皮、楡葉)、バルバスコ、ハルリンドウ、ハンダイカイ(胖大海)、パンノキ、ヒオウギ(射干)、ヒカゲツルニンジン(党参)、ピーカンナツ、ヒガンバナ(石蒜、蔓珠沙華)、ヒグルマダリア、ヒシ(菱実)、ピスタチオ、ビート、ヒトツバ(石葦)、ヒトツバエニシダ、ヒナギク(デージー)、ヒナタイノコズチ(牛膝)、ヒノキ、ヒバ、ヒマシ、ヒマワリ、ピーマン、ヒメウズ(天葵)、ヒメガマ(香蒲)、ヒメマツタケ(カワリハラタケ、ヒロマツタケ)、ビメンタ「果実」、ビヤクシ、ビヤッキュウ、ヒユ「果実」、ピロウドアオイ、ヒロハオキナグサ(白頭翁)、ビワ「果実、葉、茎」、ピンロウ(大服皮、檳榔子)、プーアル茶(普洱茶)、フウトウカズラ(南藤)、フキ、フキタンポポ(款冬花、款冬葉)、フジバカマ(蘭草)、フジマメ(扁豆)、フジモドキ(チョウジザクラ、莢花)、ブドウ「果実、果皮、種子、葉」、ブナ、フユムシナツクサタケ(冬虫夏草)、ブラジルカンゾウ、ブラジルニンジン、ブラックカーラント「果実」、ブラックベリー、プラーニェン、プラム「果実」、フルセラリア、ブルーベリー(セイヨウヒメスノキ)、ブルーン、フローラルブランカ、ブロンドサイリウム、ブンドウ(緑豆)、ヘーゼルナッツ、ヘチマ、ベニバナ(紅花)、ヘネケン、ベラドンナ、ベリー「果実」、ベルセア、ベルビアンバーグ、ペレスキア・グランディフォリア、ベンケイソウ又はイキクサ(景天)、ボイセンベリー「果実」、ホウキギ又はニワクサ又はネンドウ又はハハキギ・コキア(地膚子)、ホウセンカ(鳳仙、急性子、透骨草)、ポウテリア・サボタ、ポウテリア・ルクマ、ホウノキ、ポウフウ(防風)、ホウレンソウ、ホオズキ(登呂根)、ホオノキ(和厚朴、朴)、ボケ(木瓜)、ホソバアブラギク(苦ヨク)、ホソバオグルマ、ホソバナオケラ(蒼朮)、ホソバノキリンソウ(景天三七)、ホソババレンギク、ボダイジュ(菩提樹)、ボタン(牡丹「花、葉、茎、樹皮」)、ボタンピ(牡丹皮)、ホップ、ホホバ、ポリジ(ルリチシャ)、ポルドー、ホワートルベリー「果実」、ホンオニク(肉じゅ蓉、大芸)、ホンセッコク(鉄皮石斛、雀山石斛)、マイズルテンナンショウ(天南星)、マイタケ(舞茸)、マオウ(麻黄)、マカ、マ

カデミアナツ、マーガレット(モクシュンギク)、マクリ(海人草)、マグワ(桑白皮「樹皮、葉」)、マグノリア・スブレンゲリ、マサランゾーバ、マサランゾーバ・ド・セアラ、マシェイラ・デ・ボイ、マシュア(タマノウゼンハレン、キュウコンキンレンカ)、マタタビ(木天蓼)、マツカサ、松「葉、樹皮、根」、マツ・オーリョ、マツホド(茯苓)、マティコ(コルドンシージョ)、マヨラム(ハナハッカ)、マルバノジャジン(苦参)、マルベリー「果実」、マルメロ、マレイン(ピロウドモウズイカ)、マンゴー、マンゴスチン、マンサーニャ(アンデスカミツレ)、マンシュウグルミ、マンダリン「果実」、マンネンタケ(靈芝)、キジツ(枳実「果実」)、ミシマサイコ(柴胡)、ミズオオバコ又はミズアサガオ(竜舌草)、ミゾカクシ(半辺蓮)、ミソハギ(千屈菜)、ミチヤナギ又はニワヤナギ(篇蓄)、ミツガシワ、ミツバ、ミドリサボテ、ミドリハッカ、ミモザ、ミョウガ、ミラクルフルーツ「果実」、ミルラ、ミロバラン、ムギワラギク、ムクゲ(木槿)、ムクノキ、ムクロジ(延命皮)、ムニャ、ムラサキ(紫根)、ムラサキシキブ又はオオムラサキシキブ(紫珠)、ムラサキトウモロコシ、ムラサキナツフジ(昆明鶏血藤)、メガカンサ・オープンティカ、メハジキ(益母草)、メボウギ、メラロイカ、メリッサ、メリロート、メロン「果実」、モウコヨモギ、モウソウチク、モククリン、モジェ(コショウボク)、モッコウ(木香)、モミジバダイオウ、モモ(桃「葉、種子、花、果実」)、モヤシ、モレロチェリー「果実」、モロヘイヤ(黄麻)、ヤカワムラサキイモ、ヤクチ(益智)、ヤグルマソウ(ヤグルマギク)、ヤグルマハッカ、ヤーコン、ヤシャブシ(矢車)又はヒメヤシャブシ又はオオバヤシャブシ「果実、果皮、果穂」、ヤチヤナギ、ヤツデ(八角金盤)、ヤドリギ(柳寄生)、ヤナギ(カワヤナギ、タチヤナギ、シダレヤナギ、アカメヤナギ、ネコヤナギ、イヌコリヤナギ、キヌヤナギ、コリヤナギ、ウンリュウヤナギ、ミヤマヤナギ、ヤシ、ヤマヤナギ、オオバヤナギ、タイリクキヌヤナギ、キツネヤナギ、ドロノキ)、ヤナギタデ「葉、茎」、ヤブガラシ、ヤブコウジ(紫金牛)、ヤブタバコ(鶴虱、天名精)、ヤマゴボウ(商陸)、ヤマハンノキ(山榛)、ヤマモモ(楊梅皮)、ヤマヨモギ、ユーカリ、ユキノシタ(虎耳草)、ユッカ又はフレビフォリア、ユズ「果実」、ユリ、ヨロイグサ、ヨモギ(艾葉)、ライガン(雷丸)、ライム「果実」、ライムギ、ラカンカ「果実」、ラズベリー「葉、果実」、ラタニア(クラメリア)、ラッキョウ又はエシャロット(薤白)、ラベンダー、リュウガン(竜眼肉)、リュウゼツラン(アオノリュウゼツラン、フクリンリュウゼツラン)、リョクチャ(緑茶)、リング「果実、種子、葉、根」、リンドウ、ルバス又はスアビシムス(甜涼)、レイシ(荔枝、荔枝核)、レタス(チシャ)、レッドカーラント「果実」、レッドピタヤ、レモン「果実」、レモングラス、レンギョウ又はシナレンギョウ(連翹)、レンゲソウ、ロウバイ(蠟梅)、ロウヤシ、

ロコン(ヨシ、蘆根)、ローガンベリー「果実」、ローズマリー(マンネンロウ)、ローズヒップ(ノバラ)、ワサビ、ワタフジウツギ(密蒙花)、ワレモコウ(地榆)などが挙げられる。

【0063】又、その他の海水類、例えば、海水塩、海水乾燥物、死海又は大西洋又は太平洋の海より得た無機塩(塩化ナトリウム、塩化マグネシウム、塩化カリウムなど)、海泥又は泥(ファンゴ)類、例えば、イタリアファンゴ、ドイツファンゴ、アイフェルファンゴ、フライブルグファンゴなどの各地の海泥又は泥(含有成分：二酸化珪素、二酸化チタン、酸化アルミニウム、酸化鉄、酸化マンガン、酸化ナトリウム、酸化カリウム、酸化マグネシウム、酸化カルシウム、酸化ストロンチウム、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、カルシウム、クロム、鉄、銅、ニッケル、亜鉛、鉛、マンガン、ヒ素、水)、聖徳石など。

【0064】海藻類としては、海藻〔緑藻類：クロレラ・ブルガリス、クロレラ・ピレノイドサ、クロレラ・エリプソイデア、アオノリ(ウスバアオノリ、スジアオノリ、ヒラアオノリ、ボウアオノリ、ホソエダアオノリ)、アナアオサ(アオサ)〕、海藻〔褐藻類：コンブ(マコンブ、リシリコンブ、ホソメコンブ、ミツイシコンブ)、ワカメ、ヒロメ、アオワカメ、ジャイアントケルプ(マクロシスティス・ピリフェラ、マクロシスティス・インテグリフォリア、ネオシスティス・ルエトケアーナ)、ヒジキ、ヒバマタ、ウミウチワ、ウスバウミウチワ、キレバノウミウチワ、アカバウミウチワ、コナウミウチワ、オキナウチワ、ウスユキウチワ、エツキウミウチワ〕、海藻〔紅藻類：ヒジリメン、マクサ(テングサ)、ヒラクサ、オニクサ、オバクサ、カタオバクサ、ヤタバグサ、ユイキリ、シマテングサ、トサカノリ、トゲキリンサイ、アマクサキリンサイ、キリンサイ、ビャクシンキリンサイ、ツノマタ、オオバツノマタ、トチャカ(ヤハズツノマタ)、エゾツノマタ、トゲツノマタ、ヒラコトジ、コトジツノマタ、スギノリ、シキンノリ、カイノリ、イボツノマタ、ヤレウスバノリ、カギウスバノリ、スジウスバノリ、ハイウスバノリ、アカモミジノリ〕などが代表的なものとして挙げられる。

【0065】又、その他の藻類、例えば、緑藻類(クラミドモナス属：クラミドモナス、アカユキモ、ドゥナリエラ属：ドゥナリエラ、クロロコッカス属：クロロコッカス、クワノミモ属：クワノミモ、ボルボックス属：オオヒゲマワリ、ボルボックス、バルメラ属、ヨツメモ属、アオミドロ属：ヒザオリ、アオミドロ、ツルギミドロ属、ヒビミドロ属：ヒビミドロ、アオサ属：アナアオサ、アミアオサ、ナガアオサ、カワノリ属：カワノリ、フリッチエラ属、シオグサ属：オオシオグサ、アサミドリシオグサ、カワシオグサ、マリモ、バロニア属：タマゴバロニア、タマバロニア、マガタマモ属：マガタマモ、イワツタ属：フサイワツタ、スリコギツタ、ヘライ

ワツタ、クロキツタ、ハネモ属、ミル属：ミル、クロミル、サキブチミル、ナガミル、ヒラミル、カサノリ属：カサノリ、ジュズモ属：フトジュズモ、タマジズモ、ミゾジュズモ、ミカツキモ属、コレカエテ属、ツツミモ属、キッコウグサ属：キッコウグサ、ヒトエグサ属：ヒトエグサ、ヒロハノヒトエグサ、ウスヒトエグサ、モツキヒトエ、サヤミドロ属、クンショウモ属、スミレモ属：スミレモ、ホシミドロ属、フシナシミドロ属など)。

【0066】藍藻類(スイゼンジノリ属：スイゼンジノリ、アオコ属、ネンジュモ属：カワタケ、イシクラゲ、ハッサイ、ユレモ属、ラセンモ(スピリリナ)属：スピリリナ、トリコデスミウム(アイアカシオ)属など)。

【0067】褐藻類(ピラエラ属：ピラエラ、シオミドロ属：ナガミシオミドロ、イソブドウ属：イソブドウ、イソガワラ属：イソガワラ、クロガシラ属：グンセンクロガシラ、カシラザキ属：カシラザキ、ムチモ属：ムチモ、ヒラムチモ、ケベリグサ、アミジグサ属：アミジグサ、サキピロアミジ、サナダグサ属：サナダグサ、フクリンアミジ、コモングサ属：コモングサ、ヤハズグサ属：エゾヤハズ、ヤハズグサ、ウラボシヤハズ、ジガミグサ属：ジガミグサ、ウミウチワ属：ウミウチワ、コナウミウチワ、アカバウミウチワ、ナミマクラ属：ヒルナミマクラ、ソメワケグサ属：ソメワケグサ、ナバリモ属：ナバリモ、チャソウメン属：モツキチャソウメン、マツモ属：マツモ、ナガマツモ属：ナガマツモ、オキナワモズク属：オキナワモズク、ニセフトモズク属：ニセフトモズク、フトモズク属：フトモズク、イシモズク属：イシモズク、クロモ属：クロモ、ニセモズク属：ニセモズク、モズク属：モズク、イシゲ属：イシゲ、イロロ、イチメガサ属：イチメガサ、ケヤリ属：ケヤリ、ウミボッス属：ウミボッス、ウルシグサ属：ウルシグサ、ケウルシグサ、タバコグサ、コンブモドキ属：コンブモドキ、ハバモドキ属：ハバモドキ、ハバノリ属：ハバノリ、セイヨウハバノリ属：セイヨウハバノリ、コモンブクロ属：コモンブクロ、エゾブクロ属：エゾブクロ、フクロノリ属：フクロノリ、ワタモ、チシマフクロノリ属：チシマフクロノリ、カゴメノリ属：カゴメノリ、ムラリドリ属：ムラチドリ、サメズグサ属：サメズグサ、イワヒゲ属：イワヒゲ、ヨコジマノリ属：ヨコジマノリ、カヤモノリ属：カヤモノリ、ウイキョウモ属：ウイキョウモ、ツルモ属：ツルモ、アナメ属：アナメ、スジメ属：スジメ、ミスジコンブ属：ミスジコンブ、アツバミスジコンブ、コンブ属：ガツガラコンブ、カキジマコンブ、オニコンブ、ゴヘイコンブ、ナガコンブ、エンドウコンブ、オオチヂミコンブ、トロロコンブ属：トロロコンブ、アントクメ属：アントクメ、カジメ属：カジメ、ツルアラメ、クロメ、キクイシコンブ属：キクイシコンブ、ネジレコンブ属：ネジレコンブ、クロシオメ属：クロシオメ、ネコアシコンブ属：ネコアシコンブ、

アラメ属：アラメ、アイヌワカメ属：アイヌワカメ、チ
ガイソ、オニワカメエゾイシゲ属：エゾイシゲ、ヤバネ
モク属：ヤバネモク、ラッパモク属：ラッパモク、ジョ
ロモク属：ウガノモク、ジョロモク、ヒエモク、ホンダ
ワラ属：タマナシモク、イソモク、ナガシマモク、アカ
モク、シダモク、ホンダワラ、ネジモク、ナラサモ、マ
メタワラ、タツクリ、ヤツマタモク、ウミトラノオ、オ
オバモク、フシズシモク、ハハキモク、トゲモク、ヨレ
モク、ノコギリモク、オオバノコギリモク、スギモク
属：スギモク、ウキモ属：オオウキモ、ブルウキモ属：10
ブルウキモ、カヤモノリ属：カヤモノリなど）。

【0068】紅藻類（ウシケノリ属：ウシケノリ、フノ
リノウシケ、アマノリ属：アサクサノリ、スサビノリ、
ウップルイノリ、オニアマノリ、タサ、フイリタサ、ベ
ニタサ、ロドコルトン属：ミルノベニ、アケボノモズク
属：アケボノモズク、コナハダ属：ハイコナハダ、ヨゴ
レコナハダ、アオコナハダ、ウミゾウメン属：ウミゾウ
メン、ツクモノリ、カモガシラノリ、ベニモズク属：ベ
ニモズク、ホソベニモズク、カサマツ属：カサマツ、フ
サノリ属：フサノリ、ニセフサノリ属：ニセフサノリ、20
ソデガラミ属：ソデガラミ、ガラガラ属：ガラガラ、ヒ
ラガラガラ、ヒロハタマイタダキ属：ヒロハタマイタダ
キ、タマイタダキ属：タマイタダキ、カギケノリ属：カ
ギノリ、カギケノリ、テングサ属：ヒメテングサ、ハイ
テングサ、オオブサ、ナンブグサ、コヒラ、ヨヒラ、キ
ヌクサ、ヒビロウド属：ヒビロウド、ヒメヒビロウド、
イソムメモドキ属：イソムメモドキ、ミチガエソウ
属：ミチガエソウ、リュウモンソウ属：リュウモンソ
ウ、ヘラリュウモン、ニセカレキグサ属：ニセカレキグ
サ、オキツバラ属：オオバオキツバラ、アカバ属：アカ30
バ、マルバアカバ、ナミノハナ属：ホソバナミノハナ、
ナミノハナ、サンゴモドキ属：ガラガラモドキ、シオグ
サゴロモ属：シオグサゴロモ、イワノカワ属：エツキイ
ワノカワ、カイノカワ属：カイノカワ、カニノテ属：カ
ニノテ、サンゴモ属：サンゴモ、ムカデノリ属：ムカデ
ノリ、スジムカデ、カタノリ、ヒラムカデ、キョウノヒ
モ、サクラノリ、ニクムカデ、タンバノリ、ツルツル、
イソノハナ属：ヌラクサ、クロヌラクサ、オオムカデノ
リ、ヒラキントキ属：ヒラキントキ、マタボウ属：マタ
ボウ、キントキ属：チャボキントキ、キントキ、マツノ40
リ、コメノリ、トサカマツ、ヒトツマツ、カクレイト
属：オオバキントキ、イトフノリ属：イトフノリ、ナガ
オバナ属：ナガオバナ、フノリ属：ハナフノリ、フクロ
フノリ、マフノリ、カレキグサ属：カレキグサ、トサカ
モドキ属：ホソバノトサカモドキ、ヒロハノトサカモド
キ、ヤツデガタトサカモドキ、クロトサカモドキ、ネザ
シノトサカモドキ、キヌハダ属：キヌハダ、エゾトサカ
属：エゾトサカ、ツカサノリ属：エナシカリメニア、オ
オツカサノリ、ハナガタカリメニア、ホウノオ属：ホウ
ノオ、ヒカゲノイト属：ヒカゲノイト、ウスギヌ、ニク50

ホウノオ属：ニクホウノオ、ベニスナゴ属：ベニスナ
ゴ、ススカケベニ属：ススカケベニ、オカムラグサ属：
ヤマダグサ、ミリン属：ミリン、ホソバミリン、トサカ
ノリ属：キクトサカ、エゾナメシ属：エゾナメシ、イソ
モッカ属：イソモッカ、ユカリ属：ユカリ、ホソユカ
リ、イバラノリ属：イバラノリ、サイダイバラ、タチイ
バラ、カギイバラノリ、キジノオ属：キジノオ、イソダ
ンツウ属：イソダンツウ、アツバノリ属：アツバノリ、
オゴノリ属：オゴノリ、ツルシラモ、シラモ、オオオゴ
ノリ、ミゾオコノリ、カバノリ、テングサモドキ属：ハ
チジョウテングサモドキ、フシクレノリ属：フシクレノ
リ、ナミイワタケ属：ナミイワタケ、カイメンソウ属：
カイメンソウ、オキツノリ属：オキツノリ、サイミ属：
イタニグサ、サイミ、ハリガネ、ハスジグサ属：ハスジ
グサ、スギノリ属：イカノアシ、ホソイボノリ、ノボノ
リ、クロハギンナンソウ属：クロハギンナンソウ、アカ
バギンナンソウ属：アカバギンナンソウ、ヒシブクロ
属：ヒシブクロ、マダラグサ属：トゲマダラ、エツキマ
ダラ、タオヤギソウ属：タオヤギソウ、ハナサクラ、フ
クロツナギ属：フクロツナギ、スジコノリ、ハナノエダ
属：ハナノエダ、ヒラタオヤギ属：ヒラタオヤギ、ダル
ス属：ダルス、マサゴシバリ、アナダルス、ウエバグサ
属：ウエバグサ、ベニフクロノリ属：ベニフクロノリ、
フシツナギ属：フシツナギ、ヒメフシツナギ、ヒロハフ
シツナギ、ワツナギソウ属：ヒラワツナギソウ、ウスバ
ワツナギソウ、イギス属：イギス、ケイギス、ハリイギ
ス、ハネイギス、アミクサ、エゴノリ属：エゴノリ、フ
トイギス、サエダ属：サエダ、チリモミジ属：チリモミ
ジ、コノハノリ科：ハブタエノリ、コノハノリ、スズシ
ロノリ、ウスベニ属：ウスベニ、ハスジギヌ属：ハスジ
ギヌ、ナガコノハノリ属：ナガコノハノリ、スジギヌ
属：スジギヌ、アツバスジギヌ、ハイウスバノリ属：カ
ギウスバノリ、ヤレウスバノリ、スジウスバノリ、ハイ
ウスバノリ、ウスバノリモドキ属：ウスバノリモドキ、
アヤニシキ属：アヤニシキ、アヤギヌ属：アヤギヌ、ダ
ジア属：エナシダジア、シマダジア属：イソハギ、シマ
ダジア、ダジモドキ属：ダジモドキ、イトグサ属：モ
ロイトグサ、フトイグサ、マクリ属：マクリ、ヤナギノ
リ属：ハナヤナギ、ユナ、ヤナギノリ、モツレユナ、ベ
ニヤナギコリ、モサヤナギ、ササバヤナギノリ、ソゾ
属：クロソゾ、コブソゾ、ハネソゾ、ソゾノハナ、ハネ
グサ属：ハネグサ、ケハネグサ、コザネモ属：コザネ
モ、イソムラサキ、ホソコザネモ、ヒメゴケ属：ヒメゴ
ケ、クロヒメゴケ、ヒオドシグ属：キクヒオドシ、ヒオ
ドシグサ、ウスバヒオドシ、アイソメグサ属：アイソメ
グサ、スジナシグサ属：スジナシグサ、イソバショウ
属：イソバショウ、フジマツモ属：フジマツモ、ノコギ
リヒバ属：ハケサキノコギリヒバ、カワモズク属：カワ
モズク、アオカワモズク、ヒメカワモズク、イデユコゴ
メ属：イデユコゴメ、オキチモズク属：オキチモズク、

イトグサ属、チノリモ属：チノリモ、チスジノリ属：チスジノリなど）。

【0069】車軸藻類（シャジクモ属、シラタマモ属、ホシツリモ属：ホシツリモ、リクノタムヌス属、フラスコモ属：ヒメフラスコモ、チャボフラスコモ、トリペラ属など）、黄色藻類（ヒカリモ属：ヒカリモなど）など。

【0070】又、動物系原料由来の素材としては、鶏冠抽出物、牛又は人の胎盤抽出物、豚又は牛の胃や十二指腸或いは腸の抽出物若しくはその分解物、豚又は牛の脾臓の抽出物若しくはその分解物、豚又は牛の脳組織の抽出物、水溶性コラーゲン、アシル化コラーゲン等のコラーゲン誘導体、コラーゲン加水分解物、エラスチン、エラスチン加水分解物、水溶性エラスチン誘導体、ケラチン及びその分解物又はそれらの誘導体、シルク蛋白及びその分解物又はそれらの誘導体、豚又は牛血球蛋白分解物（グロビンペプチド）、豚又は牛ヘモグロビン分解物（ヘミン、ヘマチン、ヘム、プロトヘム、ヘム鉄等）、牛乳、カゼイン及びその分解物又はそれらの誘導体、脱脂粉乳及びその分解物又はそれらの誘導体、ラクトフェリン又はその分解物、鶏卵成分、魚肉分解物など。

【0071】(14)微生物培養代謝物
酵母代謝物、酵母菌抽出エキス、納豆菌代謝物、納豆抽出エキス、米発酵エキス、米糠（赤糠、白糠）発酵エキス、ユーグレナ抽出物、生乳又は脱脂粉乳の乳酸発酵物やトレハロース又はその誘導体など。

【0072】(15)α-ヒドロキシ酸類
グリコール酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、乳酸など。

【0073】(16)無機顔料
無水ケイ酸、ケイ酸マグネシウム、タルク、カオリン、ベントナイト、マイカ、雲母チタン、オキシ塩化ビスマス、酸化ジルコニウム、酸化マグネシウム、酸化亜鉛、酸化チタン、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、黄酸化鉄、ベンガラ、黒酸化鉄、グンジョウ、酸化クロム、水酸化クロム、カーボンブラック、カラミンなど。

【0074】(17)紫外線吸収／遮断剤
ベンゾフェノン誘導体（2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸ナトリウム、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノン、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノン-スルホン酸ナトリウム、2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン、テトラヒドロキシベンゾフェノンなど）、p-アミノ安息香酸誘導体（パラアミノ安息香酸、パラアミノ安息香酸エチル、パラアミノ安息香酸グリセリル、パラジメチルアミノ安息香酸アミル、パラジメチルアミノ安息香酸オクチルなど）、メトキシ桂皮酸誘導体（パラメトキシ桂皮酸エチル、パラメトキシ桂皮酸イソプロピル、パラメトキシ桂皮酸オクチル、パラメトキシ桂皮酸

2-エトキシエチル、パラメトキシ桂皮酸ナトリウム、パラメトキシ桂皮酸カリウム、ジパラメトキシ桂皮酸モノ-2-エチルヘキサン酸グリセリルなど）、サリチル酸誘導体（サリチル酸オクチル、サリチルフェニル、サリチル酸ホモメンチル、サリチル酸ジプロピレングリコール、サリチル酸エチレングリコール、サリチル酸ミリスチル、サリチル酸メチルなど）、アントラニル酸誘導体（アントラニル酸メチルなど）、ウロカニン酸誘導体（ウロカニン酸、ウロカニン酸エチルなど）、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ピリミジン誘導体、ジオキサン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンB6誘導体、ウンベリフェロン、エスクリン、桂皮酸ベンジル、シノキサート、オキシベンゾン、ジオキシベンゾン、オクタベンゾン、スリソベンゾン、ベンゾレソルシノール、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ベルベリン、ネオヘリオパン、エスカロール、酸化亜鉛、タルク、カオリンなど。

【0075】(18)美白剤

p-アミノ安息香酸誘導体、サルチル酸誘導体、アントラニル酸誘導体、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ピリミジン誘導体、ジオキサン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンC又はその誘導体（ビタミンCリン酸エステルマグネシウム塩、ビタミンCグルコシドなど）、ビタミンE又はその誘導体、コウジ酸又はその誘導体、オキシベンゾン、ベンゾフェノン、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ベルベリン、胎盤エキス、エラグ酸、ルシノールなど。

【0076】(19)チロシナーゼ活性阻害剤

ビタミンC又はその誘導体（ビタミンCリン酸エステルマグネシウム塩、ビタミンCグルコシドなど）、ハイドロキノン又はその誘導体（ハイドロキノンベンジルエーテルなど）、コウジ酸又はその誘導体、ビタミンE又はその誘導体、N-アセチルチロシン又はその誘導体、グルタチオン、過酸化水素、過酸化亜鉛、胎盤エキス、エラグ酸、アルブチン、ルシノール、シルク抽出物、植物エキス（カミツレ、クワ、トウキ、ワレモコウ、クララ、ヨモギ、スイカズラ、キハダ、ドクダミ、マツホド、ハトムギ、オドリコソウ、ホップ、サンザシ、ユーカリ、セイヨウノコギリソウ、アルテア、ケイヒ、マンケイシ、ハマメリス、ヤマグワ、延命草、桔梗、トシシ、続随子、射干、麻黄、センキュウ、ドクカツ、サイコ、ボウフウ、ハマボウフウ、オウゴン、牡丹皮、シャクヤク、ゲンノショウコ、葛根、甘草、五倍子、アロエ、ショウマ、紅花、緑茶、紅茶、阿仙薬）など。

【0077】(20)メラニン色素還元／分解物質
フェニル水銀ヘキサクロロフェン、酸化第二水銀、塩化第一水銀、過酸化水素水、過酸化亜鉛、ハイドロキノン又はその誘導体（ハイドロキノンベンジルエーテル）など。

【0078】(21)ターンオーバーの促進作用／細胞賦活物質

ハイドロキノン、乳酸菌エキス、胎盤エキス、靈芝エキス、ビタミンA、ビタミンE、アラントイン、脾臓エキス、胸腺エキス、酵母エキス、発酵乳エキス、植物エキス（アロエ、オウゴン、スギナ、ゲンチアナ、ゴボウ、シコン、ニンジン、ハマメリス、ホップ、ヨクイニン、オドリコソウ、センブリ、トウキ、トウキンセンカ、アマチャ、オトギリソウ、キュウリ、タチジャコウソウ、ローズマリー、パセリ）など。

【0079】(22)収斂剤

コハク酸、アラントイン、塩化亜鉛、硫酸亜鉛、酸化亜鉛、カラミン、p-フェノールスルホン酸亜鉛、硫酸アルミニウムカリウム、レゾルシン、塩化第二鉄、タンニン酸（カテキン化合物を含む）など。

【0080】(23)活性酸素消去剤

SOD、カタラーゼ、グルタチオンパーオキシダーゼなど。

【0081】(24)抗酸化剤

ビタミンC又はその塩、ステアリン酸エステル、ビタミンE又はその誘導体、ノルジヒドログアセレン酸、ブチルヒドロキシトルエン（BHT）、ブチルヒドロキシアニソール（BHA）、ヒドロキシチロソール、パラヒドロキシアニソール、没食子酸プロピル、セサモール、セサモリン、ゴシポールなど。

【0082】(25)過酸化脂質生成抑制剤

β-カロチン、植物エキス（ゴマ培養細胞、アマチャ、オトギリソウ、ハマメリス、チョウジ、メリッサ、エンメイソウ、シラカバ、セージ、ローズマリー、南天実、エイジツ、イチョウ、緑茶）など。

【0083】(26)抗炎症剤

イクタモール、インドメタシン、カオリン、サリチル酸、サリチル酸ナトリウム、サリチル酸メチル、アセチルサリチル酸、塩酸ジフェンヒドラミン、d-カンフル、dl-カンフル、ヒドロコルチゾン、グアイアズレン、カマズレン、マレイン酸クロルフェニラミン、グリチルリチン酸又はその塩、グリチルレチン酸又はその塩、甘草エキス、シコンエキス、エイジツエキスなど。

【0084】(27)抗菌・殺菌・消毒薬

アクリノール、イオウ、グルコン酸カルシウム、グルコン酸クロルヘキシジン、スルファミン、マーキュロクロム、ラクトフェリン又はその加水分解物、塩化アルキルジアミノエチルグリシン液、トリクロサン、次亜塩素酸ナトリウム、クロラミンT、サラシ粉、ヨウ素化合物、ヨードホルム、ソルビン酸又はその塩、サルチル酸、デ

ヒドロ酢酸、パラヒドロキシ安息香酸エステル類、ウンデシレン酸、チアミンラウリル硫酸塩、チアミンラウリル硝酸塩、フェノール、クレゾール、p-クロロフェノール、p-クロロ-m-キシレノール、p-クロロ-m-クレゾール、チモール、フェネチルアルコール、o-フェニルフェノール、イルガサンCH3565、ハロカルバン、ヘキサクロロフェン、クロロヘキシジン、エタノール、メタノール、イソプロピルアルコール、ベンジルアルコール、エチレングリコール、プロピレングリコール、フェノキシエタノール、クロロブタノール、イソプロピルメチルフェノール、非イオン界面活性剤（ポリオキシエチレンラウリルエーテル、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル、ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルなど）、両性界面活性剤、アニオン界面活性剤（ラウリル硫酸ナトリウム、ラウロイルサルコシナリウムなど）、カチオン界面活性剤（臭化セチルトリメチルアンモニウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、塩化メチルロザニリン）、ホルムアルデヒド、ヘキサミン、プリリアントグリーン、マラカイトグリーン、クリスタルバイオレット、ジャーマル、感光素101号、感光素201号、感光素401号、N-長鎖アシル塩基性アミノ酸誘導体及びその酸附加塩、酸化亜鉛、ヒノキチオール、クジンなど。

【0085】(28)保湿剤

グリセリン、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、ヒアルロン酸又はその塩、ポリエチレングリコール、コンドロイチン硫酸又はその塩、水溶性キチン或いはキトサン誘導体、ピロリドンカルボン酸又はその塩、乳酸ナトリウム、ミニササニシキエキス、納豆菌代謝物、納豆抽出エキス、ヘチマ水、シラカバ（白樺）又は赤松の樹液

【0086】(29)エラスターゼ活性阻害剤

フロオロリン酸ジイソプロピル、植物エキス（オウゴン、オトギリソウ、クララ、桑の葉、ケイヒ、ゲンノショウコ、コンフリー、セージ、セイヨウニワトコ、ボダイジュ、ボタンビ）、海藻エキスなど。

【0087】(30)頭髮用剤

二硫化セレン、臭化アルキルイソキノリニウム液、ジシクピリチオン、ピフェナミン、チアントール、カスターチンキ、ショウキョウチンキ、トウガラシチンキ、塩酸キニーネ、強アンモニア水、臭素酸カリウム、臭素酸ナトリウム、チオグリコール酸など。

【0088】(31)抗アンドロゲン剤

卵胞ホルモン（エストロン、エストラジオール、エチニルエストラジオールなど）、イソフラボン、オキシンドロンなど。

【0089】(32)末梢血管血流促進剤

ビタミンE又はその誘導体、センブリエキス、ニンニクエキス、人参エキス、アロエエキス、ゲンチアナエキス、トウキエキス、セファランチン、塩化カルプロニウ

ム、ミノキシジルなど。

【0090】(33)刺激剤

トウガラシチンキ、ノニル酸バニルアミド、カンタリスチンキ、ショウキョウチンキ、ハッカ油、1-メントール、カンフル、ニコチン酸ベンジルなど。

【0091】(34)代謝活性化剤

感光素301号、ヒノキチオール、パントテン酸又はその誘導体、アラントイン、胎盤エキス、ピオチン、ベンタデカン酸グリセリドなど。

【0092】(35)抗脂漏剤

ピリドキシン又はその誘導体、イオウ、ビタミンB6など。

【0093】(36)角質溶解剤

レゾルシン、サリチル酸、乳酸など。

【0094】(37)酸化剤

過酸化水素水、過硫酸ナトリウム、過硫酸アンモニウム、過ホウ酸ナトリウム、過酸化尿素、過炭酸ナトリウム、過酸化トリポリリン酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、臭素酸カリウム、過酸化ピロリン酸ナトリウム、過酸化オルソリン酸ナトリウム、ケイ酸ナトリウム過酸化水素付加体、硫酸ナトリウム塩化ナトリウム過酸化水素付加体、β-チロシナーゼ酵素液、マッシュルーム抽出液など。

【0095】(38)除毛剤

硫酸ストロンチウム、硫化ナトリウム、硫化バリウム、硫化カルシウムなどの無機系還元剤、チオグリコール酸又はその塩類(チオグリコール酸カルシウム、チオグリコール酸ナトリウム、チオグリコール酸リチウム、チオグリコール酸マグネシウム、チオグリコール酸ストロンチウム)など。

【0096】(39)毛髪膨潤剤

エタノールアミン、尿素、グアニジンなど。

【0097】(40)染料剤

5-アミノオルトクレゾール、2-アミノ-4-ニトロフェノール、2-アミノ-5-ニトロフェノール、1-アミノ-4-メチルアミノアントラキノン、3,3'-イミノジフェノール、塩酸2,4-ジアミノフェノキシエタノール、塩酸2,4-ジアミノフェノール、塩酸トルエン-2,5-ジアミン、塩酸ニトロパラフェニレンジアミン、塩酸パラフェニレンジアミン、塩酸N-フェニルパラフェニレンジアミン、塩酸メタフェニレンジアミン、オルトアミノフェノール、酢酸N-フェニルパラフェニレンジアミン、1,4-ジアミノアントラキノン、2,6-ジアミノピリジン、1,5-ジヒドロキシナフタレン、トルエン-2,5-ジアミン、トルエン-3,4-ジアミン、ニトロパラフェニレンジアミン、パラアミノフェノール、パラニトロオルトフェニレンジアミン、パラフェニレンジアミン、パラメチルアミノフェノール、ピクラミン酸、ピクラミン酸ナトリウム、N,N'-ビス(4-アミノフェニル)-2,5-ジアミノ-1,4-キノンジイミン、5-(2-ヒドロキシエチルアミノ)-2-メチルフェノール、N-フェニルパラフェニレンジアミン、メタアミノフェノール、メタフェニレンジアミン、硫酸5-アミノオルトクレゾール、硫酸2-アミノ-5-ニトロフェノール、硫酸オルトアミノフェノール、硫酸オルトクロルパラフェニレンジアミン、硫酸4,4'-ジアミノジフェニルアミン、硫酸2,4-ジアミノフェノール、硫酸トルエン-2,5-ジアミン、硫酸ニトロパラフェニレンジアミン、硫酸パラアミノフェノール、硫酸パラニトロオルトフェニレンジアミン、硫酸パラニトロメタフェニレンジアミン、硫酸パラフェニレンジアミン、硫酸パラメチルアミノフェノール、硫酸メタアミノフェノール、硫酸メタフェニレンジアミン、カテコール、ジフェニルアミン、α-ナフトール、ヒドロキノン、ピロガロール、フロログルシン、没食子酸、レゾルシン、タンニン酸、2-ヒドロキシ-5-ニトロ-2',4'-ジアミノアゾベンゼン-5'-スルホン酸ナトリウム、ヘマテインなど。

ール、N-フェニルパラフェニレンジアミン、メタアミノフェノール、メタフェニレンジアミン、硫酸5-アミノオルトクレゾール、硫酸2-アミノ-5-ニトロフェノール、硫酸オルトアミノフェノール、硫酸オルトクロルパラフェニレンジアミン、硫酸4,4'-ジアミノジフェニルアミン、硫酸2,4-ジアミノフェノール、硫酸トルエン-2,5-ジアミン、硫酸ニトロパラフェニレンジアミン、硫酸パラアミノフェノール、硫酸パラニトロオルトフェニレンジアミン、硫酸パラニトロメタフェニレンジアミン、硫酸パラフェニレンジアミン、硫酸パラメチルアミノフェノール、硫酸メタアミノフェノール、硫酸メタフェニレンジアミン、カテコール、ジフェニルアミン、α-ナフトール、ヒドロキノン、ピロガロール、フロログルシン、没食子酸、レゾルシン、タンニン酸、2-ヒドロキシ-5-ニトロ-2',4'-ジアミノアゾベンゼン-5'-スルホン酸ナトリウム、ヘマテインなど。

【0098】(41)香料

ジャコウ、シベット、カストリウム、アンバーgrisなどの天然動物性香料、アニス精油、アングリカ精油、イランイラン精油、イリス精油、ウイキョウ精油、オレンジ精油、カナンガ精油、カラウエー精油、カルダモン精油、グアヤクウッド精油、クミン精油、黒文字精油、ケイ皮精油、シンナモン精油、ゲラニウム精油、コパイバルサム精油、コリアンデル精油、シソ精油、シダーウッド精油、シトロネラ精油、ジャスミン精油、ジンジャーグラス精油、杉精油、スベアミント精油、西洋ハッカ精油、大茴香精油、チュベローズ精油、丁字精油、橙花精油、冬緑精油、トルーバルサム精油、パチュリー精油、バラ精油、パルマローザ精油、桧精油、ヒバ精油、白檀精油、プチグレン精油、ベイ精油、ベチバ精油、ベルガモット精油、ペルーバルサム精油、ボアドローズ精油、芳樟精油、マンダリン精油、ユーカリ精油、ライム精油、ラベンダー精油、リナロエ精油、レモングラス精油、レモン精油、ローズマリー精油、和種ハッカ精油などの植物性香料、その他合成香料など。

【0099】(42)色素・着色剤

赤キャベツ色素、赤米色素、アカネ色素、アナトー色素、イカスミ色素、ウコン色素、エンジュ色素、オキアミ色素、柿色素、カラメル、金、銀、クチナシ色素、コーン色素、タマネギ色素、タマリンド色素、スピルリナ色素、ソバ全草色素、チェリー色素、海苔色素、ハイビスカス色素、ブドウ果汁色素、マリーゴールド色素、紫イモ色素、紫ヤマイモ色素、ラック色素、ルチンなど。

【0100】その他、保湿剤、ホルモン類、金属イオン封鎖剤、pH調整剤、キレート剤、防腐・防バイ剤、清涼剤、安定化剤、乳化剤、動・植物性蛋白質及びその分解物、動・植物性多糖類及びその分解物、動・植物性糖蛋白質及びその分解物、血流促進剤、消炎剤・抗アレルギー剤、細胞賦活剤、角質溶解剤、創傷治療剤、増泡剤、増粘剤、口腔用剤、消臭・脱臭剤、苦味料、調味

料、酵素などが上げられ、これらとの併用によって、相加的及び相乗的な各種の効果が期待できる。

【0101】又、本発明の化粧料組成物の剤型は任意であり、カプセル、粉末、顆粒、固形、液体、ゲル、気泡、乳液、クリーム、軟膏、シートなどの形態で配合して用いることができる。

【0102】具体的には、例えば、外用薬用製剤、化粧水、乳液、クリーム、軟膏、ローション、オイル、パックなどの基礎化粧料、洗顔料や皮膚洗浄料、除毛剤、脱毛剤、アフターシェーブローション、プレシェーブローション、シェービングクリーム、ファンデーション、口紅、頬紅、アイシャドウ、アイライナー、マスカラなどのメイクアップ化粧料、香水類、シャンプー、リンス、ヘアトリートメント、プレヘアトリートメント、整髪料、パーマ剤、ヘアトリック、染毛料、育毛・養毛料などの頭髮化粧料、浴用剤、消臭剤、防臭剤、バップ剤、プラスター剤、テープ剤、シート剤、貼付剤、エアゾール剤、その他、歯磨き類、口中清涼剤・含嗽剤、衛生綿類、ウエットティッシュなど様々な製品に応用でき、又、一般的な飲食品への使用もできる。

【0103】尚、本発明の化粧料組成物への添加の方法については、予め加えておいても、製造途中で添加しても良く、作業性を考えて適宜選択すれば良い。

【0104】

【実施例】以下に、製造例、試験例、処方例を上げて説明するが、本発明がこれらに制約されるものではない。

【0105】（製造例1）水蒸気蒸留装置を用いてキントラノオ果実の水蒸気蒸留を行い、得られた水溶性成分層（水層部）を分取し、濾過して目的の水蒸気蒸留水を得る。

【0106】（製造例2）上記、製造例1で得た水蒸気蒸留水に対して、防腐・防バイ剤（例えば、パラベン類：メチルパラベン、エチルパラベン、プロピルパラベン、エタノール、フェノキシエタノール）を添加し、目的の水蒸気蒸留水を得る。

【0107】（製造例3）上記、製造例1で使用したキントラノオの水蒸気蒸留水を得た後の残渣物を再度、出発原料として、水蒸気蒸留を行い、目的の水蒸気蒸留水を得る。

【0108】（製造例4）各種植物「キントラノオ科植物（アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカ

（処方例1）乳液

- | | |
|------------------|-----|
| 1. スクワラン | 8.0 |
| 2. ホホバ油 | 7.0 |
| 3. セチルアルコール | 1.5 |
| 4. グリセリンモノステアレート | 2.0 |

ド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）」の果実を用いて、製造例1と同様な方法にて、水蒸気蒸留水を得る。

【0109】（試験1）安全性試験

（1）皮膚一次刺激性試験

10 製造例1及び4で得られた各種植物の水蒸気蒸留水を背部を剪毛したハートレー系モルモット（雌性、1群3匹、体重300～350g）の皮膚の2×2cm²の四角当たり0.03mLずつ塗布した。判定は、適用後24、48、72時間に一次刺激性の評点法により紅斑及び浮腫を指標として行った。その結果、全ての動物において、何等、紅斑及び浮腫を認めず陰性と判定された。

【0110】（試験2）安全性試験

（2）皮膚累積刺激性試験

20 製造例1及び4で得られた各種植物の水蒸気蒸留水を側腹部を剪毛（2×4cm²）したハートレー系モルモット（雌性、1群3匹、体重320g前後）の皮膚に1日1回、週5回、0.5mL/動物当りを塗布した。塗布は2週にわたって、又、剪毛は各週の最終塗布日に行った。判定は、各塗布日及び最終塗布日の翌日に一次刺激性の評点法により紅斑及び浮腫を指標として行った。その結果、全ての動物において、塗布後2週間にわたって、何等、紅斑及び浮腫を認めず陰性と判断された。

【0111】（試験3）安全性試験

（3）単回投与毒性試験

30 製造例1及び4で得られた各種植物の水蒸気蒸留水を、一匹につき30mL/kg量を、試験前、16時間絶食させたddy系マウス（雄性及び雌性、1群5匹、5週齢）に経口にてゾンデを以て投与し、毒性症状の発現、程度などを経時的に観察した。その結果、全てのマウスにおいて14日間、何等異常を認めず、解剖の結果も異常がなかった。よって、LD₅₀は30mL/kg以上であり、安全な物質と判断した。

【0112】（処方例）化粧料組成物の製造

上記の評価結果に従い、以下にその処方例を示すが、各処方例は各製品の製造における常法により製造したもので良く、配合量のみを示した。又、本発明はこれらに限定されるわけではない。

【0113】

重量%

8.0
7.0
1.5
2.0

31

5. ポリオキシエチレン(20)セチルエーテル
6. ポリオキシエチレン(20)ソオルピタンモノオレート
7. 1,3-ブチレングリコール
8. グリセリン
9. A-1 : 製造例1のキントラノオ水蒸気蒸留水
A-2 : 製造例4のアセロラ水蒸気蒸留水
A-3 : 製造例4のコウシュンカズラ水蒸気蒸留水
A-4 : 製造例4のバリバリノキ水蒸気蒸留水
A-5 : 製造例4のカゴノキ水蒸気蒸留水
A-6 : 製造例4のスナヅル水蒸気蒸留水
A-7 : 製造例4のクスノキ水蒸気蒸留水
A-8 : 製造例4のニッケイ水蒸気蒸留水
A-9 : 製造例4のシナクスモドキ水蒸気蒸留水
A-10 : 製造例4のゲッケイジュ水蒸気蒸留水
A-11 : 製造例4のクロモジ水蒸気蒸留水
A-12 : 製造例4のテンダイウヤク水蒸気蒸留水
A-13 : 製造例4のハマビワ水蒸気蒸留水
A-14 : 製造例4のシロダモ水蒸気蒸留水
A-15 : 製造例4のシロモジ水蒸気蒸留水
A-16 : 製造例4のアボカド蒸気蒸留水
A-17 : 製造例4のナツグミ水蒸気蒸留水
A-18 : 製造例4のホソグミ水蒸気蒸留水
A-19 : 製造例4のツルグミ水蒸気蒸留水
A-20 : 製造例4のアキグミ水蒸気蒸留水
A-21 : 製造例4のヤマヤナギ水蒸気蒸留水
A-22 : 製造例4のケンボナシ水蒸気蒸留水
A-23 : 製造例4のハマナツメ水蒸気蒸留水
A-24 : 製造例4のクロウメモドキ水蒸気蒸留水
A-25 : 製造例4のナツメ水蒸気蒸留水
A-26 : 製造例4のバラミツ水蒸気蒸留水
A-27 : 製造例4のコウゾ水蒸気蒸留水
A-28 : 製造例4のハリグワ水蒸気蒸留水
A-29 : 製造例4のイチジク水蒸気蒸留水
A-30 : 製造例4のマグワ水蒸気蒸留水
A-31 : 製造例4のザクロ水蒸気蒸留水
A-32 : 製造例4のヒメザクロ水蒸気蒸留水
※A-1～A-32の何れか1種の水蒸気蒸留水
10. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)
11. 精製水

3.0

2.0

1.0

2.0

5.0

適量

100とする残余

【 0 1 1 4 】

40

(処方例2) 乳液

重量%

1. スクワラン 8.0
2. ホホバ油 7.0
3. パラアミノ安息香酸グリセリル 1.0
4. ウロカニン酸エチル 1.0
5. ビタミンCリン酸エステルマグネシウム塩 1.0
6. セチルアルコール 1.5
7. グリセリンモノステアレート 2.0
8. ポリオキシエチレン(20)セチルエーテル 3.0

32

33

9. ポリオキシエチレン(20)ソオルピタンモノオレート	2.0
10. 1,3-ブチレングリコール	1.0
11. グリセリン	2.0
12. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
13. 製造例4のアセロラ水蒸気蒸留水	20.0
14. 製造例4のカゴノキ水蒸気蒸留水	20.0
15. 精製水	100とする残余

【 0 1 1 5 】

(処方例3) 化粧用オイル

	重量%
1. 流動パラフィン	30.0
2. スクワラン	20.0
3. オリーブ油	10.0
4. パルミチン酸イソプロピル	10.0
5. グレープフルーツ果実又は葉熱水抽出液	1.0
6. オリーブ油	1.0
7. シア脂	1.0
8. ブチルヒドロキシアニソール	0.1
9. ビタミンE誘導体	0.1
10. 防腐剤 (塩化ベンザルコニウム)	適量
11. 製造例4のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	10.0
12. 製造例4のクロモジ水蒸気蒸留水	100とする残余

【 0 1 1 6 】

(処方例4) 柔軟性化粧水

	重量%
1. グリセリン	5.0
2. 1,3-ブチレングリコール	5.0
3. モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルピタン(20E.0)	1.0
4. エタノール	15.0
5. A-1 : 製造例1のキントラノオ水蒸気蒸留水	
A-2 : 製造例4のアセロラ水蒸気蒸留水	
A-3 : 製造例4のコウシュンカズラ水蒸気蒸留水	
A-4 : 製造例4のバリバリノキ水蒸気蒸留水	
A-5 : 製造例4のカゴノキ水蒸気蒸留水	
A-6 : 製造例4のスナヅル水蒸気蒸留水	
A-7 : 製造例4のクスノキ水蒸気蒸留水	
A-8 : 製造例4のニッケイ水蒸気蒸留水	
A-9 : 製造例4のシナクスモドキ水蒸気蒸留水	
A-10 : 製造例4のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	
A-11 : 製造例4のクロモジ水蒸気蒸留水	
A-12 : 製造例4のテンダイウヤク水蒸気蒸留水	
A-13 : 製造例4のハマビワ水蒸気蒸留水	
A-14 : 製造例4のシロダモ水蒸気蒸留水	
A-15 : 製造例4のシロモジ水蒸気蒸留水	
A-16 : 製造例4のアボカド水蒸気蒸留水	
A-17 : 製造例4のナツグミ水蒸気蒸留水	
A-18 : 製造例4のホソグミ水蒸気蒸留水	
A-19 : 製造例4のツルグミ水蒸気蒸留水	
A-20 : 製造例4のアキグミ水蒸気蒸留水	
A-21 : 製造例4のヤマヤナギ水蒸気蒸留水	

35

36

A-22: 製造例4のケンボナシ水蒸気蒸留水	
A-23: 製造例4のハマナツメ水蒸気蒸留水	
A-24: 製造例4のクロウメドキ水蒸気蒸留水	
A-25: 製造例4のナツメ水蒸気蒸留水	
A-26: 製造例4のパラミツ水蒸気蒸留水	
A-27: 製造例4のコウゾ水蒸気蒸留水	
A-28: 製造例4のハリグワ水蒸気蒸留水	
A-29: 製造例4のイチジク水蒸気蒸留水	
A-30: 製造例4のマグワ水蒸気蒸留水	
A-31: 製造例4のザクロ水蒸気蒸留水	
A-32: 製造例4のヒメザクロ水蒸気蒸留水	
※A-1～A-32の何れか1種の水蒸気蒸留水	30.0
6. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
7. 精製水	100とする残余

【0117】

(処方例5) 収れん化粧水

	重量%
1. ソルビット	2.0
2. POE (20) オレイルアルコール	1.0
3. エタノール	15.0
4. パリエタリア50%1,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
5. ヒバマタ50%1,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
6. ハイビスカス50%1,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
7. 緑茶葉又は茎50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
8. ハマメリス葉又は樹皮50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
9. アラントイン	0.2
10. 収れん剤 (スルホ石炭酸亜鉛)	0.2
11. 製造例4のテンダイウヤク水蒸気蒸留水	20.0
12. 製造例4のハマビワ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例4のケンボナシ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0118】

(処方例6) 2層式化粧水 (液～液型)

	重量%
1. スクワラン	8.0
2. POEソルビタンテトラオレイン酸エステル	0.3
3. ソルビット	1.0
4. エタノール	15.0
5. センキュウ根茎30%エタノール抽出液	2.0
6. セージ全草30%エタノール抽出液	2.0
7. 芍薬根茎及び葉30%エタノール抽出液	1.0
8. リンゴ成熟果実30%エタノール抽出液	1.0
9. アスコルビン酸	0.2
10. 収れん剤 (カラミン)	0.1
11. 防腐剤 (フェノキシエタノール)	適量
12. 製造例4のナツグミ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例4のハマナツメ水蒸気蒸留水	20.0
14. 製造例4のヒメザクロ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0119】

(処方例7) カーマインローション (液～固型)

重量%

37

38

1. グリセリン	3.0
2. 1,3-ブチレングリコール	5.0
3. エタノール	15.0
4. 酸化鉄 (ベンガラ)	0.2
5. 酸化亜鉛	0.5
6. カオリン	2.0
7. 烏薬根茎及び葉50%エタノール抽出液	2.0
8. コンフリー葉及び茎50%エタノール抽出液	2.0
9. 石榴果実50%プロピレングリコール抽出液	1.0
10. オトギリソウ花又は葉50%プロピレングリコール抽出液	1.0
11. プラセンタエキス	1.0
12. カンファー	0.2
13. フェノール	0.03
14. 防腐剤 (感光素 201 & 401 号)	適量
15. 製造例 4 のクロウメモドキ水蒸気蒸留水	20.0
16. 精製水	100とする残余

【 0 1 2 0 】

(処方例 8) バック

	重量%
1. ポリビニルアルコール	15.0
2. カルボキシメチルセルロースナトリウム	5.0
3. プロピレングリコール	3.0
4. エタノール	15.0
5. ステビア葉50%エタノール抽出液	2.0
6. ヒオウギ根茎50%エタノール抽出液	2.0
7. 桜葉50%エタノール抽出液	2.0
8. 桃葉50%エタノール抽出液	2.0
9. ニオイイリス根茎50%エタノール抽出液	2.0
10. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
11. 香料 (セージ精油)	適量
12. 製造例 4 のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	30.0
13. 精製水	100とする残余

【 0 1 2 1 】

(処方例 9) ビールオフバック

	重量%
1. グリセリン	6.0
2. プロピレングリコール	4.0
3. ポリビニルアルコール	15.0
4. エタノール	10.0
5. ポリオキシエチレングリコール	1.0
6. パントテニルエチルエーテル	1.0
7. ユーカリ葉茎30%エタノール抽出液	3.0
8. トウガシ30%エタノール抽出液	2.0
9. ホソババレンギク (エチナシ) 葉30%エタノール抽出液	2.0
10. アルニカ花又は葉30%エタノール抽出液	2.0
11. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
12. 製造例 4 のクスノキ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例 4 のニッケイ水蒸気蒸留水	20.0
14. 製造例 4 のマグワ水蒸気蒸留水	100とする残余

【 0 1 2 2 】

(処方例 1 0) コールドクリーム

	重量%
1. サラシミツロウ	11.0
2. 流動パラフィン	22.0
3. ラノリン	10.0
4. オリーブ油	5.0
5. カミツレ油	5.0
6. パーム油	5.0
7. ホウ砂	0.5
8. オウバク樹皮抽出液	2.0
(エタノール:1,3-ブチレングリコール=1:1抽出溶媒)	
9. 葛根抽出液	2.0
(エタノール:1,3-ブチレングリコール=1:1抽出溶媒)	
10. ハトムギ種子抽出液	2.0
(エタノール:1,3-ブチレングリコール=1:1抽出溶媒)	
11. 液状シア脂	1.0
12. 防腐剤 (アクリノール)	0.1
13. 製造例 4 のコウシュンカズラ水蒸気蒸留水	20.0
14. 製造例 4 のツルグミ水蒸気蒸留水	100とする残余

【 0 1 2 3 】

20

(処方例 1 1) エモリエントクリーム

	重量%
1. ステアリン酸	2.0
2. ステアリルアルコール	7.0
3. 還元ラノリン	2.0
4. スクワラン	5.0
5. オクチルドデカノール	6.0
6. ポリオキシエチレンセチルエーテル (25E.0.)	3.0
7. 親油性モノステアリン酸グリセリン	2.0
8. プロピレングリコール	5.0
9. チンピ果皮50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
10. 苦参根茎50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
11. 枸杞果実50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
12. 枸杞根皮50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
13. 防腐剤 (パラベン)	適量
14. 製造例 4 のシロダモ水蒸気蒸留水	100とする残余

【 0 1 2 4 】

(処方例 1 2) 洗顔クリーム

	重量%
1. ミリスチン酸	25.0
2. ステアリン酸	15.0
3. 牛脂脂肪酸	5.0
4. プロピレングリコール	10.0
5. 水酸化カリウム	6.0
6. ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	6.0
7. キイチゴ果実50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
8. 西洋ニワトコ花又は漿果	
50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
9. 紅花50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
10. カラギーナン	1.0

41

42

11. グリチルレチン酸ジカリウム	1.0
12. 杏子核粒	0.1
13. 防腐剤 (サルチル酸)	0.1
14. 製造例 4 のザクロ水蒸気蒸留水	20.0
15. 精製水	100とする残余

【 0 1 2 5 】

(処方例 1 3) 洗顔クリーム

	重量%
1. ステアリン酸	15.0
2. パルミチン酸	15.0
3. ミリスチン酸	15.0
4. ラウリン酸	4.0
5. オレイルアルコール	1.5
6. ラノリン誘導体 (E. O. 付加物)	1.0
7. グリセリン	18.0
8. 水酸化カリウム	6.0
9. ローヤルゼリー抽出液	1.0
(エタノール:1, 3-ブチレングリコール=1:1Eキ)	
10. グリチルリレチン酸	1.0
11. 防腐剤 (サルチル酸)	0.1
12. 製造例 1 のキントラノオ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例 4 のナツメ水蒸気蒸留水	100とする残余

【 0 1 2 6 】

(処方例 1 4) ボディーソープ

	重量%
1. ラウリン酸カリウム	15.0
2. ミリスチン酸カリウム	5.0
3. プロピレングリコール	5.0
4. 乳清	1.5
5. 製造例 4 のスナヅル水蒸気蒸留水	15.0
6. 製造例 4 のハマナツメ水蒸気蒸留水	15.0
7. ワカメ70%1, 3-ブチレングリコール抽出液	1.5
8. 枇杷葉70%1, 3-ブチレングリコール抽出液	1.5
9. キウイ果実70%1, 3-ブチレングリコール抽出液	1.5
10. オタネ人参の根70%1, 3-ブチレングリコール抽出液	1.5
11. ポリエチレン末	0.5
12. ヒドロキシプロピルキトサン溶液	0.5
13. アミノ酸 (グリシン、グルタミンなど)	0.5
14. 防腐剤 (ウンデシレン酸、フェノール)	適量
15. pH調整剤	適量
16. 精製水	100とする残余

【 0 1 2 7 】

(処方例 1 5) サンスクリーン化粧品 (O/W型)

	重量%
1. オキシベンゾン	2.0
2. パラメトキシケイ皮酸オクチル	5.0
3. スクワラン	10.0
4. ワセリン	5.0
5. ステアリルアルコール	3.0
6. ステアリン酸	3.0

43

44

7. グリセリルモノステアレート	2.0
8. ポリアクリル酸エチル	1.0
9. 1,3-ブチレングリコール	6.0
10. エデト酸二ナトリウム	0.1
11. トリエタノールアミン	1.0
12. 二酸化チタン	5.0
13. リョクトウモヤシジプロピレングリコール抽出液	1.5
14. フキタンポポの葉及び花ジプロピレングリコール抽出液	1.5
15. ムラサキの根50%ジプロピレングリコール抽出液	1.5
16. 白樺樹皮50%ジプロピレングリコール抽出液	1.5
17. オトギリソウ全草50%ジプロピレングリコール抽出液	1.5
18. 柴胡の根50%ジプロピレングリコール抽出液	1.5
19. 防腐剤 (パラベン)	適量
20. 製造例 4 のアセロラ水蒸気蒸留水	20.0
21. 製造例 4 のイチジク水蒸気蒸留水	100とする残余

【 0 1 2 8 】

(処方例 1 6) サンスクリーン化粧品 (オイルタイプ)

	重量%
1. 流動パラフィン	65.0
2. パラアミノ安息香酸エチル	1.0
3. テトラヒドロキシベンゾフェノン	1.0
4. セチルオクタノエート	20.0
5. スギナ全草熱水抽出液	1.0
6. 大豆種子熱水抽出液	1.0
7. 山茶花全草熱水抽出液	0.5
8. 芍薬根又は葉熱水抽出液	0.5
9. 生姜根茎熱水抽出液	0.5
10. 牡丹皮50%熱水抽出液	1.5
11. タチジャコウソウ全草熱抽出液	0.5
12. コンフリー葉及び茎熱水抽出液	0.5
13. ジヒドロキシメトキシベンゾフェノン	0.2
14. 製造例 4 のヤマヤナギ水蒸気蒸留水	6.8
15. 酸化防止剤 (ブチルヒドロキシトルエン)	適量

【 0 1 2 9 】

(処方例 1 7) クリームファンデーション (O/W型)

	重量%
1. ステアリン酸	4.0
2. モノステアリン酸グリセリン	3.0
3. セタノール	1.5
4. ミリスチン酸イソプロピル	7.0
5. 流動パラフィン	10.0
6. サラシミツロウ	3.0
7. トリエタノールアミン	1.5
8. グリセリン	3.0
9. ベントナイト	1.0
10. 酸化チタン	8.0
11. 2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン	8.0
12. カオリン	3.0
13. タルク	3.0
14. 着色顔料 (黄酸化鉄)	1.0

45

46

15. ツボクサ葉又は茎70%エチレングリコール抽出乾燥粉末	0.2
16. 桑葉70%エチレングリコール抽出乾燥粉末	0.2
17. 防腐剤 (パラベン)	適量
18. 香料 (ジャスミン精油)	適量
19. 製造例4のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	20.0
20. 製造例4のハリグワ水蒸気蒸留水	10.0
21. 精製水	100とする残余

【0130】

(処方例18) シャンプー

	重量%
1. ラウリル硫酸トリエタノールアミン	5.0
2. ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウム	12.0
3. 1,3-ブチレングリコール	4.0
4. ラウリン酸ジエタノールアミド	2.0
5. エデト酸二ナトリウム	0.1
6. 山梔子果実30%1,2-ブチレングリコール抽出液	2.0
7. 茴香果実30%1,2-ブチレングリコール抽出液	2.0
8. 桑白皮30%1,2-ブチレングリコール抽出液	2.0
9. 熊笹の葉及び茎30%1,2-ブチレングリコール抽出液	1.0
10. ヒドロキシプロピルキトサン溶液	2.0
11. ムコ多糖体溶液	1.0
12. 抗菌・防腐剤 (感光素101号)	適量
13. pH調整剤	適量
14. 香料 (ハマメリス水)	適量
15. 製造例4のシナクスモドキ水蒸気蒸留水	20.0
16. 製造例4のツルグミ水蒸気蒸留水	20.0
17. 製造例4のハリグワ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0131】

(処方例19) リンス

	重量%
1. 塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	3.0
2. セトステアリルアルコール	3.0
3. ポリオキシエチレンラノリンエーテル	3.0
4. プロピレングリコール	5.0
5. カミツレ花又は茎50%2,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
6. サボンソウ葉又は茎50%2,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
7. レンゲソウ葉50%2,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
8. ヒドロキシエチルキトサン溶液	1.0
9. トレハロース溶液	1.0
10. 加水分解シルク溶液	1.0
11. 抗菌・防腐剤 (塩化ベンザルコニウム)	適量
12. 製造例4のバリバリノキ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例4のアキグミ水蒸気蒸留水	20.0
14. 製造例4のコウゾ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0132】

(処方例20) リンス

	重量%
1. 塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	2.0
2. セトステアリルアルコール	2.0
3. ポリオキシエチレンラノリンエーテル	3.0

47

48

4. プロピレングリコール	5.0
5. エチレングリコール	3.0
6. イラクサ根茎50%エチレングリコール抽出液	2.0
7. ホップ雌花穂50%エチレングリコール抽出液	2.0
8. トレハロース溶液	3.0
9. 加水分解ケラチン溶液	3.0
10. 抗菌・防腐剤（塩化ベンザルコニウム）	適量
11. アロエ葉液汁	3.0
12. 製造例4のニッケイ水蒸気蒸留水	40.0
13. 製造例4のマグワ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0133】

(処方例21) ヘアーリキッド

	重量%
1. エタノール	29.0
2. ポリオキシプロピレンブチルエーテルリン酸	10.0
3. ポリオキシプロピレンモノブチルエーテル	5.0
4. トリエタノールアミン	1.0
5. 百合球根熱水抽出液	2.0
6. ウミウチワ熱水抽出液	2.0
7. レタス葉熱水抽出液	2.0
8. 細辛（ケイリン細辛）全草熱水抽出液	1.0
9. 銀杏葉熱水抽出液	1.0
10. 米糠熱水抽出エキス	1.0
11. 塩化カルプロニウム	0.3
12. ヒノキチオール	0.5
13. ケラチン分解溶液	1.0
14. 抗菌・防腐剤（パラベン、塩化ベンザルコニウム）	適量
15. 製造例4のクスノキ水蒸気蒸留水	20.0
16. 製造例4のテンダイウヤク水蒸気蒸留水	20.0
17. 精製水	100とする残余

【0134】

(処方例22) ヘアーリキッド

	重量%
1. エタノール	29.0
2. ポリオキシプロピレンブチルエーテルリン酸	10.0
3. ポリオキシプロピレンモノブチルエーテル	5.0
4. トリエタノールアミン	1.0
5. トリメチレングリコール	5.0
6. 納豆発酵エキス	1.0
7. トウキンセンカ花50%エタノール抽出液	1.0
8. ヨモギ全草50%エタノール抽出液	1.0
9. ウーロン茶葉又は種子50%エタノール抽出液	1.0
10. アズレン	1.0
11. 抗菌・防腐剤（パラベン、塩化ベンザルコニウム）	適量
12. 製造例4のパラミツ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例4のクロモジ水蒸気蒸留水	5.0
14. 精製水	100とする残余

【0135】

(処方例23) ヘアートニック

重量%

49

50

1. エタノール	40.0
2. オレイン酸エチル	1.0
3. ポリオキシエチレン(40)硬化ヒマシ油	2.0
4. A-1 : 製造例1のキントラノオ水蒸気蒸留水	
A-2 : 製造例4のアセロラ水蒸気蒸留水	
A-3 : 製造例4のコウシュンカズラ水蒸気蒸留水	
A-4 : 製造例4のバリバリノキ水蒸気蒸留水	
A-5 : 製造例4のカゴノキ水蒸気蒸留水	
A-6 : 製造例4のスナヅル水蒸気蒸留水	
A-7 : 製造例4のクスノキ水蒸気蒸留水	
A-8 : 製造例4のニッケイ水蒸気蒸留水	
A-9 : 製造例4のシナクスモドキ水蒸気蒸留水	
A-10 : 製造例4のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	
A-11 : 製造例4のクロモジ水蒸気蒸留水	
A-12 : 製造例4のテンダイウヤク水蒸気蒸留水	
A-13 : 製造例4のハマビワ水蒸気蒸留水	
A-14 : 製造例4のシロダモ水蒸気蒸留水	
A-15 : 製造例4のシロモジ水蒸気蒸留水	
A-16 : 製造例4のアボカド水蒸気蒸留水	
A-17 : 製造例4のナツグミ水蒸気蒸留水	
A-18 : 製造例4のホソグミ水蒸気蒸留水	
A-19 : 製造例4のツルグミ水蒸気蒸留水	
A-20 : 製造例4のアキグミ水蒸気蒸留水	
A-21 : 製造例4のヤマヤナギ水蒸気蒸留水	
A-22 : 製造例4のケンボナシ水蒸気蒸留水	
A-23 : 製造例4のハマナツメ水蒸気蒸留水	
A-24 : 製造例4のクロウメモドキ水蒸気蒸留水	
A-25 : 製造例4のナツメ水蒸気蒸留水	
A-26 : 製造例4のパラミツ水蒸気蒸留水	
A-28 : 製造例4のハリグワ水蒸気蒸留水	
A-29 : 製造例4のイチジク水蒸気蒸留水	
A-30 : 製造例4のマグワ水蒸気蒸留水	
A-31 : 製造例4のザクロ水蒸気蒸留水	
A-32 : 製造例4のヒメザクロ水蒸気蒸留水	
※ A-1 ~ A-32の何れか1種の水蒸気蒸留水	20.0
5. 塩化カルプロニウム	0.3
6. パンテチン水溶液	0.5
7. 柚子葉又は果実60%エタノール抽出液	3.0
8. 防腐剤 (パラベン)	適量
9. 精製水	100とする残余

【 0 1 3 6 】

(処方例24) ヘアートニック

	重量%
1. l-メントール	0.2
2. エタノール	32.5
3. ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油	0.5
4. プロピレングリコール	5.0
5. 塩酸ジフェンヒドラミン	0.3
6. 当帰根茎熱水抽出液	2.0
7. 羅漢果果実熱水抽出液	1.0

51

52

8. オウレン根茎熱水抽出液	1.0
9. トウモロコシ全草熱水抽出液	1.0
10. 鶏冠抽出溶液	1.0
11. カルボキシメチルキチン溶液	1.0
12. ビタミンE誘導体	0.5
13. パンテチン水溶液	0.5
14. 抗菌・防腐剤（パラベン）	0.1
15. 製造例4のハマビワ水蒸気蒸留水	20.0
16. 製造例4のケンボナシ水蒸気蒸留水	20.0
17. 精製水	100とする残余

【0137】

(処方例25) 育毛・養毛剤

	重量%
1. エタノール	60.0
2. 大豆種子50%プロピレングリコール抽出液	5.0
3. センキュウ根茎50%プロピレングリコール抽出液	2.0
4. センブリ全草50%プロピレングリコール抽出液	2.0
5. セイヨウノコギリソウ全草 50%プロピレングリコール抽出液	2.0
6. ビタミンE誘導体	0.5
7. トウガラシチンキ	0.5
8. レゾルシン	0.5
9. グリチルリチン酸	0.5
10. ヒドロキシプロピルキトサン溶液	0.5
11. 牛ヘマチン液	0.5
12. ムチン溶液	0.5
13. アミノ酸（グリシン、グルタミンなど）	0.5
14. 抗菌・防腐剤（パラベン）	0.1
15. 製造例4のザクロ水蒸気蒸留水	20.0
16. 製造例4のヒメザクロ水蒸気蒸留水	10.0
17. 精製水	100とする残余

【0138】

(処方例26) 育毛・養毛剤

	重量%
1. エタノール	60.0
2. セイヨウネズ50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
3. セイヨウニワトコ50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
4. 木槿皮又は果実50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
5. 茯苓菌核50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
6. ヘチマ全草50%1,3-ブチレングリコール抽出液	0.5
7. カンタリスチンキ	0.5
8. パントテン酸誘導体	0.5
9. レゾルシン	0.5
10. グリチルリチン酸	0.5
11. サリチル酸	0.5
12. ヒドロキシエチルキトサン溶液	0.5
13. エラスチン加水分解液	0.5
14. 抗菌・防腐剤（パラベン）	0.1
15. 製造例4のパラミツ水蒸気蒸留水	20.0
16. 製造例4のイチジク水蒸気蒸留水	100とする残余

【0139】

(処方例27) 顆粒浴用剤

	重量%
1.炭酸水素ナトリウム	38.0
2.無水硫酸ナトリウム	30.0
3.ホウ砂	2.0
4.製造例4のバリバリノキ水蒸気蒸留水	20.0
5.西洋薄荷葉又は茎熱水抽出液	5.0
6.ユキノシタ全草熱水抽出乾燥粉末	5.0
7.色素(グンジョウ緑)	適量

【0140】

(処方例28) 顆粒浴用剤

	重量%
1.炭酸水素ナトリウム	30.0
2.無水硫酸ナトリウム	30.0
3.ホウ砂	4.0
4.製造例4のクロモジ水蒸気蒸留水	30.0
5.ヤグルマギク花又は葉茎70%エタノール抽出乾燥粉末	3.0
6.アロエ果肉70%エタノール抽出液	3.0
7.色素(グンジョウ、水酸化クロム)	適量

【0141】(処方例29) 被覆保護剤

ガーゼ又はリニメント布に製造例4のニッケイ水蒸気蒸留水、抗生物質、抗炎症など適量を混合した処方液を含浸させ、外傷部に添付する。又、製造例4のツルグミ水蒸気蒸留水又はナツメ水蒸気蒸留水を直接、局所に散布し、ガーゼなどで被覆しても良い。

【0142】(試験4) 使用効果試験

本発明の化粧料組成物を実際に使用した場合の効果について検討を行った。使用テストは乾燥ぎみやツヤ・張りのない肌で悩む人30～60歳の各10名をパネラーとし、毎日、朝と夜の2回、洗顔後に処方例4の柔軟性化粧水の適量を顔面に3ヶ月に渡って塗布することにより行った。尚、対照には、柔軟性化粧水から本発明の柑橘

類植物の水蒸気蒸留水を除いたものを同様な方法にて処方したものを用いた。又、評価方法は下記の基準にて行い、結果は表1から表2の通りで表中の数値は人数を表す。尚、使用期間中に皮膚の異常を訴えた者はなかった。

【0143】「皮膚感触改善効果」

有 効：乾燥肌や肌のツヤ・張りが増し、肌が改善された。

やや有効：乾燥肌や肌のツヤ・張りがやや増し、肌が改善された。

無 効：使用前と変化なし。

【0144】

〈表 1〉

試 料	有 効	やや有効	無 効
キントラノオ水蒸気蒸留水	2	8	1
アセロラ水蒸気蒸留水	2	8	1
コウシュンカズラ水蒸気蒸留水	0	9	1
バリバリノキ水蒸気蒸留水	0	8	2
カゴノキ水蒸気蒸留水	1	8	1
スナヅル水蒸気蒸留水	0	8	2
クスノキ水蒸気蒸留水	1	9	0
ニッケイ水蒸気蒸留水	3	6	1
シナクスモドキ水蒸気蒸留水	0	9	1
ゲッケイジュ水蒸気蒸留水	2	8	0
クロモジ水蒸気蒸留水	2	7	1
テンダイウヤク水蒸気蒸留水	2	7	1
ハマビワ水蒸気蒸留水	1	8	1
シロダモ水蒸気蒸留水	1	7	2
シロモジ水蒸気蒸留水	1	7	2
アボカド水蒸気蒸留水	1	9	0
ナツグミ水蒸気蒸留水	1	7	2
ホソグミ水蒸気蒸留水	0	8	2
ツルグミ水蒸気蒸留水	0	7	3
アキグミ水蒸気蒸留水	0	8	2
対 照 品	0	0	1 0

57
〈表2〉

58

試 料	有 効	やや有効	無 効
ヤマヤナギ水蒸気蒸留水	0	9	1
ケンボナシ水蒸気蒸留水	2	8	0
ハマナツメ水蒸気蒸留水	2	7	1
クロウメモドキ水蒸気蒸留水	2	7	1
ナツメ水蒸気蒸留水	2	6	2
パラミツ水蒸気蒸留水	3	6	1
コウゾ水蒸気蒸留水	2	6	2
ハリグワ水蒸気蒸留水	0	8	2
イチジク水蒸気蒸留水	0	9	1
マグワ水蒸気蒸留水	2	8	0
ザクロ水蒸気蒸留水	3	7	0
ヒメザクロ水蒸気蒸留水	2	6	2
対 照 品	0	0	10

【0146】（試験結果）表1から表2の通り、本発明のキントラノオ科植物（キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）の水蒸気蒸留水を含有した柔軟性化粧水は、有意に乾燥肌を改善し、肌にツヤ・張りを与えることが確認できた。

【0147】

【発明の効果】本発明のキントラノオ科植物（キントラ

ノオ、アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）より選ばれた1種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有した化粧料組成物は、乾燥肌を改善し、肌にツヤ・張りも与えることができる。尚、人・動物に対しても安全なものであり、その他、精神的な安定感を付与し、ストレスの解消、清涼感を与え、一般的な飲食品類への利用も可能である。

【手続補正書】

【提出日】平成13年2月22日（2001. 2. 22）

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正内容】

【0046】尚、本発明の化粧品組成物は、前記の必須成分に加え必要に応じ、本発明の効果を損なわない範囲内で、下記に例示する成分や添加剤を任意に選択・併用して製造することができ、製剤中への含有量は、特に規定しないが、通常、0.0001～50%が好ましい。

フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

識別記号

F I

ターマート（参考）

A 6 1 K 7/48

A 6 1 K 7/48

7/50

7/50

Fターム（参考） 4C083 AA072 AA082 AA111 AA112
 AA122 AB032 AB152 AB212
 AB232 AB242 AB312 AB352
 AB442 AC022 AC032 AC072
 AC102 AC122 AC132 AC182
 AC212 AC242 AC352 AC392
 AC432 AC442 AC472 AC482
 AC532 AC542 AC552 AC582
 AC642 AC682 AC852 AD022
 AD092 AD112 AD272 AD312
 AD322 AD532 AD642 AD662
 CC04 CC05 CC06 CC07 CC12
 CC23 CC38 CC39 DD12 DD27
 DD30 DD33 EE12